

# 意識の流れ

田池留吉の磁場を思い瞑想をしよう

## 第2巻



## 意識の流れ 田池留吉の磁場を思い瞑想をしよう

田池留吉

私がU T A会に参加して共にセミナーをさせていただくのは、平成26年12月までとさせていただきます。皆さん方がますます学びを進めていかれることを切に望んでいます。

私は、7月18日近畿大学付属病院脳神経外科に緊急入院し手術、7月21日退院してきました。

つきましては、今後のセミナーは、核の塩川香世さんと輪を作り共に学びを進めていってほしいと思います。

私は、平成26年12月のセミナーまではすべて出席し、皆さん方のお役に立ちたいと思っています。

では、7月のセミナーでお会いしましょう。

8月8日、慢性硬膜下血腫再発で入院・手術、8月11日退院。現在開店休業中、では、よろしく頼みます。

U T Aの輪（仮称）作りに努めていきます。よろしく頼みます。

輪の中に入ってこない人はどんな方だろうと思ってみました。

己偉い人。我は一番、我は神なりと思っている人。

欲の深い人。

**神と金をしっかり掴んでいる人。**等々でしょうか。

心をしっかり見ていきましょう。奥の奥の闇を磁場・反転と発していきましょう。

本当の自分は、喜び、温もりだと気付けるようになりましょう。

救ってください、助けてください、何とかしてくださいといった人たちはこれからどうなるのでしょうか。

健康がほしい、お金がほしい、パワーがほしいばかりの人たちはどうなるのでしょうか。

どうか、もう一度、この学びに入った動機、その時使った思いを振り返ってください。

そして人生の目的、意識の流れ、次元移行についてしっかり学び直してください。

他力、現世利益等々ではいくら学びに繋がっていても、いつかは離れていくことになるのではないのでしょうか。

第13回UTA会に参加するにあたって、心を新たにして輪の中にどんどん入っていくように心掛けてください。心から待っています。

第13回UTA会参加予定の方、どうか、今日より、毎日、磁場反転を実践してください。

磁場って素晴らしい、反転は想像以上にすごいといった体験を一度でもいいからしてから参加するように頼みますよ。

と言われてもなかなかできないと思っている方は、どうしてできないのか、自分の心を深く深く見ていってください。瞑想をしっかり続けてください。

瞑想をしなければ何もわかってきませんよ。頭でいくら考えても真実は見えてきません。

やるかやらないかはあなた自身ですよ。そして、結果はあなたのものです。自己選択・自己責任、心掛けてください。

セミナー会場で、U T Aの輪の仲間と一緒に待っています。  
磁場と反転を毎日続けてください。毎日毎日ですよ。

皆さん方がなさっている磁場反転は、まだまだ瞑想まで進んでいないと思います。磁場反転をなさった後はできるだけ瞑想を、  
そして、マイナスの思いや情報を反転していくようにしてください。

やればやるだけ、「意識の流れの学びを進める」でお伝えしてきたことがはっきりわかってくるでしょう。

真剣に瞑想をやってください。

私がお伝えしてきた**瞑想が日常化**になっていない方の磁場反転は、意識の転回が進んでいないもので終わってしまうでしょう。

心して正しい瞑想を心掛けてください。

第13回U T A会参加者全員の方が自宅に戻られた頃と思います。どうぞ、セミナー会場でお話したことをしっかり実践して

ください。

磁場反転と瞑想が最重要ですが、意識の転回（10月10日まで）、宇宙の風（10月31日まで）を、私がお話しした要領で読み込んでください。

さらに、「磁場と反転」の本が書店等に並んだら、さっそく買って読んでください。しっかりしっかり読んでください。

そして、第14回のUTA会に参加してください。

12月のUTA会は、宇宙に向けての瞑想が中心、来年3月のUTA会は「磁場と反転」出版記念セミナーとして盛り上げていきましょう。

磁場に心を向け反転していますか。

ところで、あなたの反転力はいかがなものでしょうか。

まず、草書体の愛に向けてOリングテストを試みる。次に、白紙に、愛という字を書く、そして反転を、続いてOリングテストを実施する。

あなたの反転力がわかってくるでしょう。

反転力は、あなたの磁場に対する信の強さ、大きさを表していることになります。

あなたの肉体細胞に、あなたの思いをしっかり向けていきましょう。ありがとう。ごめんなさい。ありがとう、片時も忘れないように。

**肉体細胞は意識、肉体細胞は愛**です。

肉体細胞はエネルギー、いつもプラスの仕事をしています。

絶えず、肉体細胞を信じ、磁場を信じ、そして、さらにさらに反転力を高め、次元移行に向けて進化していきましょう。

常に一つ、肉体細胞とともにありましょう。

肉体細胞は意識、肉体細胞は愛、常に、あなたの肉体細胞にあなただの心に向けて瞑想をしていきましょう。

実験してみましょう。

まず、ラミネートした草書体の愛と自筆で愛と書いた白紙1、2、3、4を用意する。

1. 白紙1をテストする。
2. 愛をテストする。
3. 白紙1を愛の上に置いた後テストする。
4. 白紙2を反転する。続いてテストする。
5. 愛を手で撫でる。その手で白紙3を撫でる。白紙3をテストする。
6. 愛をしっかり見つめてから、白紙4を手で撫でテストする。
7. 上記の5または6の後、写真などを手で撫でテストする。

テストとは、Oリングテストのこと。

なぜ苦しむのか。

人生を逆様に生きているからです。意識の転回、肉から意識へ。肉は偽、意識が真。偽なるものは消滅、真なるものは永遠に存在する。

偽の世界に生きることは苦しみ、マイナス、真の世界に生きることは幸せ、プラスです。

愛はプラス、愛しか存在しない。真のあなたは愛です。  
磁場反転、正しい瞑想で気付いていきましょう。

草書体の愛を、まず目でしっかり見てから瞑想をしてみましょう。愛の文字は波動、エネルギーです。

愛の文字はあなたの心の中にあります。愛の文字は喜び、温もりです。信じていきましょう。

ストラップの愛、ラミネートの愛とともに毎日を過ごすように心掛けていきましょう。

## 瞑想



左の愛の字を手で触れてみてください。そして、その手に愛のエネルギーが写ったことを確認してください。

その手で白紙に触れたり、水道水を入れたコップに触れたりしてOリングテストをしてみてください。



沢山の仲間の方から、10月28日の瞑想会ではすごい体験をしましたという報告を頂きました。これからも、仲間と一緒に瞑想を続けてください。

12月のUTA会が楽しみです。ありがとう。ありがとう。

第14回UTA会に参集しましょう。

セミナーは、磁場と反転、草書体の愛と瞑想を主にします。宇宙に向けての瞑想も3回します。

相談券（塩川香世さんによるチャネリング）を持参の方の中から50名の方を抽選させていただきます。

相談券は、次の方にお渡しします。

- ① 10月31日までに、「意識の転回」と「宇宙の風」を読み終わられた方
- ② 第14回UTA会に参加される方
- ③ 会費振込用紙に①を記入された方

なお、参加者全員の方に。11月1日（木）から「母なる宇宙とともにI・II」を12月2日（日）までにしっかり読んでおいてください。

10月28日（日）のスカイプ瞑想会のようなすごい会になると期待しています。

お詫び 私の不手際で①を記入をしないで振込用紙を送られた方はUTA会当日、受付で相談券を受け取ってください。

## 五訓

1. あなたは目に見えません。あなたはエネルギーだからです。
2. 日々の生活の中で、自分の作ってきたエネルギーを感じてください。
3. 瞑想をして、磁場のエネルギーを心に感じられるようになってください。
4. 何を間違えたのか、なぜ間違ったのか、あなたの心で知ってください。
5. 次元移行という意識の流れを心で知ってください。  
(第14回UTA会でラミネートしたものを配布します。)

「磁場と反転」が11月22日発売になります。心から嬉しく思っています。一人でも多くの方に読んでいただきたいと思っています。

さて、第14回UTA会に参加される方は、参加当日までにぜひ読んでおいていただきたいと思っています。心に響いたところには印をつけ、感想も書き込んでおくようにしましょう。そして、会場に来る前に感想のところをもう一度読み込んでおくようにしましょう。

草書体の愛を毎日何度も何度も見てください。そして、色々試みてください。愛からエネルギーが、田池留吉の磁場からエネルギー

ギーが流れてきます。仕事をします。そのすごさに、あなたが感動できたらいいと思っています。

愛、すなわち、あなたが、本当のあなたが仕事をしているのです。喜んでください。信じてください。

そして、あなたの反転力を絶えず確認するようにしてください。たとえば、愛の文字の上に白い紙を置いてください。

その紙をテストします。次に、別の白い紙に反転とやってください。そして、テストを。テストの結果を参考にしてください。

前のものを10としたら後のものはどうでしょうか。数字の低い方は自分をあまり信じていないことになります。

転写も、同じような要領で測ることができると思います。

私はあなた、あなたは私、一つが確信できるように学びを進めていってください。

(私=愛は10としてください。)

UTA会の皆さん、ありがとう。ようやく、全開で数え切れないほど沢山の沢山の意識達に向かって、愛に帰っておいでとプラス発進の準備が整ったと確信ができました。

UTAの輪は小さくてもいいと思っています。

愛はエネルギー、大いなる仕事をしてまいります。

迷いは微塵もありません。ともに進んでいこうと決心された方は、どうぞ、中に入ってきてください。ただし条件は大変厳しいです。

前述の3つが条件です。

私は、今、喜びでわくわくしています。ありがとう、ありがとう。喜びと感謝しかありません。

第14回UTA会に参加される方は、草書体の愛の活用について予習しておいてください。

I. 草書体の愛は田池留吉の磁場・エネルギー、仕事をする。

① 愛の上に白紙1を置く。

白紙1の上に白紙2を置く。続いて、白紙2の上に白紙3を置く。白紙3をテストする。

② 愛の上に手を触れる。その手を白紙1に触れる。続いて、白紙1に手を触れその手を白紙2に触れる。白紙2をテストする。

③ 愛を見る。続いて手を白紙1に触れる。白紙1をテストする。

④ 愛を思う。続いて手を白紙1に触れる。白紙1をテストする。

II. 白紙1を反転する。白紙1をテストする。①の白紙3と比較する。(反転力)

III. 愛を白紙1に転写する。白紙1をテストする。①の白紙3と比較する。(転写力)

IV. コップに水道水を入れ愛か白紙1の上に置く。水道水をテストする。

- V. 水道水以外のものを白紙1の上に置く。それらをテストする。
- VI. 愛か白紙1の上に手を置いて瞑想をする。
- VII. 愛を見てから瞑想をする。また、愛を思い瞑想をする。

私は、この地球に肉体を持つ以前から、また、肉体が亡くなってからもずっと皆さん方に必要なメッセージを送り続けています。

草書体の愛を見て、思っ、あるいは触れて瞑想、メッセージの受信を実行して行ってください。

そして、あなた方の心の指針にして行ってください。私達は、永遠に、私はあなた、あなたは私、一つ、ともに存在し続けています。

あなたは愛のエネルギー・波動、永遠に存在するものです。あなたから愛はいつもいつも流れています。遮らないでください。

マイナスの思い・エネルギーを流さないでください。苦しみの原因を作らないように心掛けてください。

あなたの中にマイナスのエネルギーを感じたら直ちに反転と発してください。あなたにとってマイナスと思われる現象は、すべて、反転をあなたに促していると心得てください。そして、UTAの輪の中に入ってくるように努めてください。いつまでも待っています。

後10日足らずで、塩川香世著「磁場と反転」が書店に並びま

す。書店で求め、第14回U T A会までに何度も読み込んで、心に響いたところに印をつけ、感想を書き込んでおきましょう。目を置いて、感想を書き込んだところで瞑想を、草書体の愛に思いを向けて瞑想をするようにしましょう。熱心に磁場反転を心掛けましょう。

本を買って読んでよかったと思ったら、一人でも多くの方に読んでいただけるようにお勧めくださいませんか。

さらに、ラミネートした草書体の愛を使って一緒に学びをするようにしてくださいませんか。

真剣に、誠実に、人生を考え、真実を求めていこうとされている方をU T Aの輪に誘ってくださいませんか。

全宇宙の意識達が、今、あなた方の目覚めを渴望しています。あなたから発信している愛にストップを掛けないでください。

意識の転回、母親の温もりが、今、あなたにとって一番必要とされています。草書体の愛とともにまっすぐに進んでいってください。

2013年、2014年、2015年はあなたにとって大変重要な年になってくるでしょう。心して前へ前へと進むようにしていってください。

草書体の愛を大いに正しく活用してください。お札かお守りレベルで扱っていませんか。あるいは、軽く扱っていませんか。

ということは、自分を信じていないということになるのです。粗末に扱っているということになるのですよ。

第14回UTA会で愛の文字の入ったボールペンが頂けるようですが、次のような実験をしてみてください。

白紙を4枚用意します。

- ① 白紙1をテストする。
- ② 白紙2に平素使っているボールペンで愛と書く。そして、テストする。
- ③ 白紙3に愛の入ったボールペンで愛と書く。そして、テストする。

続いて、平素使っているボールペンを白紙3の上に置きそのペンで白紙1に愛と書く、そしてテストする。

- ④ 愛の入ったボールペンの上に平素使っているボールペン置く。そのボールペンで、白紙4に愛と書く。そして、テストする。

第15回UTA会までにしっかりと自学自習しておいてください。

- ① 「私はあなた、あなたは私、一つ」。ここで言っている私とかあなたについて説明をしてください。
- ② 「あなたはエネルギー・波動です。あなたは愛です」。あ

あなたはこの真実を信じていますか。

- ③ 塩川香世著「磁場と反転」を読まれましたか。磁場とはそもそも一体何なのでしょう。
- ④ 意識の流れについてあなたはどのように理解されていますか。確信されていますか。
- ⑤ 自己選択・自己責任、しっかりと心得て日々生活していますか。
- ⑥ 自己顕示、自己保存についてあなたの見解を聞かせてください。
- ⑦ 悩んだり、苦しんだり、悲しんだりしていませんか。どうしてでしょうか。その原因が分かっていますか。
- ⑧ 他力信仰の反省はもう終わっていますか。神とか仏の存在についてあなたはどのように思っていますか。
- ⑨ お金で苦勞していませんか。お金をしっかり握っているではありませんか。お金って一体何でしょうか。
- ⑩ あなたにとってお母さんという方はどのような存在でしょうか。お母さんの温もりを知っていますか。それはどのようなものなのでしょうか。

肉のあなたにお聞きしたいと切に思っています。

あなたにとって平和とはなんですか。みんなと仲良くしていこうというのはどういうことですか。

あなたにとって夫婦、親子とは何ですか。



ズバリ、愛とは。本当に分かっていますか。

あなたにとって、幸福とは何でしょうか。

毎日、毎日、宇宙にあなたの心に向けていますか。一体、心とは何でしょうか。

今、U T Aの輪に入って学んでいこうと思っていますか。本当に誠実に真剣にですか。

では、あなた自身を熱く語ってください。

死後のあなたの世界を語ってください。

来世のあなたを語ってください。

次元移行を真面目に目指していますか。



あなたは、あなたが愛だと信じていますか。宇宙は愛です。すべてプラスです。今、あなたは信じられますか。

信じて生きていきましょう。次元移行を遂げていきましょう。

私は、今世、肉体を母この糸さんという方から頂きました。感謝と喜びしかありません。

その肉体の名は、田池留吉といいます。彼は極めて愚昧ですが、一方、私にひたすら思いを向けてきてくれました。

そして、ようやく、私はあなた、あなたは私、一つ、すなわち

愛を知ることができました。歓喜です。

これから、彼は全力を投じて全宇宙に向けて皆さん方とともに、アルバートとともに在り続けると確信しております。

<sup>ちゅうしん</sup>衷心からありがとう、喜びですと、あなたにお伝えさせていただきます。

私は意識、愛、エネルギーでした。

**真実**は**唯一つ**、**愛**。ご存じでしょうか。私は、愛だけをお伝えしていきます。宇宙の意識達にも、肉ある時も肉ない時も、ひたすら誠実に伝えていきます。私はこのために肉体を頂いてきました。そして肉体を置いていきます。ずっと、その後も愛を伝えていきます。

アルバートも愚かですが、頂いた肉体を最高に使って愛を伝えていくでしょう。次元移行に向かってひたすらに愛を皆さんに伝えていくでしょう。

地球よありがとう、さようならと歓喜する時まで、すべての意識達とともに進んでいきましょう。

**あなたは偉大な存在**です。愛そのものです。あなたを大きくしていくのも小さくしていくのもあなた次第です。何を迷い苦しんでいるのですか。

一刻も早く、目覚めてください。真実は外にはありません。真実はあなたの中に厳然として存在しています。

草書体の愛に心に向けて瞑想に励んでください。瞑想しかあり

ませんよ。どうして、未だに迷っているのでしょうか。信じて進んでください。

後は、あなたがやるかやらないかにかかっています。自己選択・自己責任で進んでください。

草書体の愛はあなたですよ。

目覚めてください。何をうろうろ、きよろきよろ彷徨<sup>さまよ</sup>っているのですか。もう、まっすぐに愛へ帰る道を進んでいきましょう。

愛の文字に触れたり、見たり、思ったりして、ひたすらに瞑想をしましょう。

あなたの心の中にマイナスのエネルギーを見つけ、反転を実行していきましょう。

偶然とか神秘とかいったものではありません。必然、原因があって結果があります。

私たちは、波動、エネルギー、愛に向いていない、目覚めていない波動、エネルギーはすべてマイナスです。

愛のみがプラスです。波動・エネルギーはすべて現象化します。

マイナスの現象は、愛への指針です。マイナスに見える現象は愛です。心の針を中に向けて磁場反転と進んでいきましょう。天変地異も然り。

あなたの中に母親の温もりが間違いなくあります。瞑想を正しく続けていけば、母親の温もりが確信できる日が必ずやてきます。

草書体の愛の文字を使って、瞑想、反転、母親の温もりと進んでいってください。

草書体の愛は、温もり、喜び、光とも言える波動・エネルギーです。パワーです。

心して学んでいってください。待っています。U T Aの輪の中に加わってきてください。

私が伝えていることが分かるということは、実践して、心で分かる、結果を出すということです。

上手に話ができるとか、文章が書けるということではありません。

真実の世界は、頭では分かりません。心でしか分かりません。心でまだ分かっていない方は、意識の転回を急いでください。

生きている基盤が間違っているのは、いくら熱心に学んでいるといっても空しい結果しか出てきません。間違っているのはあなただからです。

草書体の愛の文字に全力投球、いかがでしょうか。待っています。

愛の文字は、愛、あなたです。信じて学びをどんどん進めていきませんか。

愛の文字から愛のエネルギーがどんどん放射されていきます。勿論、すべてあなた次第です。

愛の文字とともにあなたの今世を全うしてください。

もう一度、愛の文字は、私です。愛の文字はあなたでもあります。信じて進んでください。

あなたを救済して、母なる宇宙に誘っていくのは、この愛しかありません。愛は、母の温もり、真実です。

迷うことなく、愛の文字に触れて、見て、思っただけを毎日過ごしてください。

必ず、あなたは本当の喜び、幸せを感じられるようになっていきます。

決して、決して、愛の文字を軽く扱わないでください。次元移行に向けて大切に扱ってください。

よろしく頼みます。

「磁場と反転」、今日、11月22日、沢山の人が買い求めて読み始めている情報が入ってきて喜んでいきます。

UTA会まで2週間、読み込んで参加してください。

草書体の愛の文字の効用の学びとともに、磁場反転力の飛躍的なアップを期しています。

この際、学びの存在を知らない人達に、「磁場と反転」を紹介してください。愛の文字も。

そして、一人でも多くの方がセミナーに参加されるようにお勧めいただけたらと思っています。

信じていますか。あなたは愛です。

草書体の愛を使って、多くの結果を出している人達と愛の本を作りたいと思っています。

有志の方々と合宿して、学んで、愛を極めて、本を作りたいと願っています。

燃えています。期待して待っててください。

来年の初冬の頃に出版します。

第14回UTA会は、草書体の愛を使ってのセミナーになります。愛の文字に触れて、見て、思っで瞑想、磁場、反転、宇宙、母親の温もり等々。準備はよろしいか、予習はどうですか。

いずれ、UTAブックから連絡があると思いますが、草書体の愛という文字を使っての実験、体験をどしどし聞かせてください。

学びの友とともに、本『愛 あなたは愛です』を作っていきたいと思っています。よろしく頼みます。

苦労話を自慢げに話す人がいます。あなたはどうでしょうか。苦労をマイナスと受け取っていたらどうでしょうか。

苦労していた時、苦労話をしている時にどんなマイナスの思いを出していたか、そして、反転をどのようにしていたかが大切です。

苦労をプラスに反転、喜びとして受け取り、その上で体験を語るようになさればと思います。

苦労は、間違っているからなさることです。心の針の向け先が間違っているということです。常に、心の針を正しく向けるように心掛けていきましょう。

苦労は、決して自慢にはなりません。磁場・反転で喜びに変え

ていくようにしていきましょう。

さらに、反省というのは、磁場・反転、そして、マイナスの思い・エネルギーをプラスにできたかどうかで評価していくようにしましょう。

いたずらに自分が作った闇を語るのが反省ではありません。心してください。草書体の愛の文字に手を置いて瞑想を、どうぞ。

とにかく、草書体の**愛の文字**の上に手を置いて瞑想をしてください。

**素直さ**が第一です。

草書体の愛の文字と白紙2枚を用意してください。

愛の文字を撫でる。

その手で白紙1を撫でる。Oリングテストをする。……硬い。

数分たってから、白紙1を撫でた手で白紙2を撫でる。Oリングテストをする。……どうでしょうか。

どうしてそうなるのか、考えてみましょう。

発行時期は未確定ですが、概ね来年の11月下旬に「**愛** あなたは愛です」が本屋さんで求められるようになります。

本の作製にあたって、草書体の愛の文字を使った実験や体験などを、U T Aブックから連絡がありましたら送ってほしいと思っています。

つきましては、私の思いに応じていただいた友の方々と更に学びを進めていきたいと思っています。いずれ具体的にお知らせしていきます。

どうぞ、私とともに、素直に、真面目に、真剣に次元移行に向かって確実に進んでいきましょう。

U T A会主催のセミナーは、平成26年12月までと思っています。それ以降はパソコンを使つての勉強と、今は、考えています。

(注 私現在実施されているセミナーに参加させていただくのは平成26年12月まで、後は、パソコンを使つての勉強会には都合がつけば参加したいと思っています。)

U T A会に参加予定の方は、Oリングテストが正しくできるように練習しておいてください。できていない方が案外多いようです。

頑張ってください。反転力、転写力の自己評価や自分自身が愛であると、どの程度信じているかなど知ることができません。

草書体の愛の文字を、いたずらにお札、お守りのように利用しないでください。

利用目的は、本当の自分自身と出会い、次元移行を果たすことです。

母親の温もりを、反転を、そして、意識の転回を進め、本当の



自分とは学びを進めるように心掛けてください。

厚い厚い自分が作ってきた壁に気付き、学びを遅らせている真っ黒い闇を知り、真面目に、真剣に反転を。

反転はマイナスをプラスに、そして、全てがプラスだと気付かせてくれます。

それから、本当の喜び、温もり、優しさ、幸せが感じられるようになってきます。

壁、真っ黒い闇とは、己偉し、欲が深い、神と金をしっかり握っている心が作ってきたのです。

## 田池留吉の磁場と反転 塩川香世

学びを一人で淡々と進めていくのもいいし、学びの友とやっていくのもいい、形は色々あります。形は問いません。そんなことよりも、自分の中心棒があるのか、ないのか、そのところを確認し、学んでいくことが一番大切です。

学びを本当にやっ払いこうとするきっかけになるのは、今で言えばお水を使った反転です。お水を使って、磁場、反転と心の針を向ける、合わせる訓練を徹底する、まずこれからです。

それをやっていくうちに色々自分で気付いていくんです。

自分の心の中にすべてが存在することが分かってきます。

母の温もりがいかに大切か、いいえ、本当のことをどんどん感じていくには、母の温もりが心の中に本当に蘇ってこない限り難しいということも、自分で知っていきます。

また、温もりと喜びの層が厚く深くなっていけばいくほど、自分の中のエネルギーをつぶさに感じます。

そして、それはもう苦しみでもなければ何でもありません。喜びなんです。次元移行に向かって突き進んでいく喜びだけがそこに広がっていきます。

私はそれを宇宙と表現してきました。私は田池留吉の磁場と瞑想をすれば、必ず、宇宙という言葉とか感覚の中に自分があることを感じます。

私は、だから必ず瞑想の時間を確保します。絶対に確保します。そのために体調その他を整えるように、肉は努めています。

宇宙と思いを向ける喜びと幸せを、今、この肉を持ちながら感じさせていただいていることがたまらなく嬉しいんです。

どんなにすごいエネルギーの自分を感じても、私は絶対に狂ったりはしない。不安になることも恐怖を覚えることも何もない。反転と思いを発する喜びを心に感じ、しっかりと次元移行へ至る道を歩いていることを確認できる瞑想の時間です。そんな時間をできるだけたくさん持つようにしていけばいい、私はそのように思っています。

今は田池留吉の磁場と思ひ、その方向に心の針を向ける、合わせることをただひたすらにやっていく、そのことに専念していくことです。

そして、瞑想を続けます。瞑想をどんだんどんだんやっていくんです。

そうすれば、あなたの来世がぐんぐんぐんぐん引っ張っていくのを感じてくると思います。

そして、そこにはアルバートです。アルバートしかないんです。アルバートと一斉に呼んでいるたくさんの自分自身を感じていくんです。本当に自分の中が一つになって、ただただ一つになって、真っ直ぐに突き進んでいく喜びを感じていける。

私達には時間も空間も何もないことを感じます。今、感じていくことが喜び、今、感じていけることが幸せ、うまく表現できないけれど、瞑想をして何かそんなことを体験しています。

思えば通じる、呼べば通じる、私の中でその確信をさらに、さらに強めていくお勉強をどんどんしていくこれからなんだと、そう感じています。

瞑想をして自分の心で感じていく、それを今こうして着実にやっていくことができるのが、それが本当に嬉しくて喜びなんだと、瞑想をするたびにそう思います。

「瞑想を自分の生活の中心に据えて、そして、自分を感じていくことを続けていけば、何の不安も迷いもないでしょう。これが安心、安全、そして幸せ、喜びの道です。」

そう自分に言ってくる私を私は心で感じています。

そうなんです。その通りです。私は私を信じて私は私だけを見つめて存在していけば、もう間違いのない道を歩いています。

これが私の今世の結果です。この結果を受けて、これからの250年、300年を学んでいくんだ、そして、その後の自分を

学んでいくんだということを私は知っています。そのことが瞑想をすれば心に響いてくるんです。だから、私にとって瞑想をする時間はとても嬉しくて大切な時間なんです。

田池留吉の磁場に心の針を向ける、合わせる。向ける、合わせる。

一瞬にして針が合う。この瞬間の喜びが大きなエネルギー、パワーとなって流れていくことを心で体験すれば、本当にもう何も言うことはありません。一日、一日、そんな瞑想を重ねていける喜びの中にあります。

心はみんな知っていました。本当に知っていました。その自分を感じていけばいくほどに、今が本当に嬉しいです。

私自身、こんな瞑想ができるなんて本当に不思議です。形しか信じられなかった私が、今、ふっと心に向けるだけで、どんどん私の中が反応していきます。思いが溢れてきます。

今、私が私を学習している嬉しさ、喜びが心に溢れてきます。心に感じ心に響いてくる世界、この中に私はある、いいえ、これが私なんだ、その実感がたまらなく嬉しいです。

自分を思う喜び、自分を思える喜びが広がって行って、私の中の温もりへどんどんどんどん自分自身をいざなっていきます。そうしたとき、私の中の喜びと温もりの層がどんどん厚くなっていくんだ、その確信を深めていける今が嬉しくて、ただただ自分にありがとうしかありません。

ふっと自分が寂しいなあとか、空しい、侘<sup>わび</sup>しい、身体の倦怠感とともに心も脱落していくような気がするとか、そういう状態のときこそ、何かに逃げたり、何かで気を紛らわしたりしないで、そんな自分と誠実に向き合っていけば、必ず何かそこからこれからの自分にとって、良い兆しを感じ取っていける、それがこの学びを知っている人と知らない人の違いのように思います。

誠実に自分と向き合う優しさは、母の温もりを心に感じてくれば、自然に養われていきます。もともと私達は優しいんだから、もともと私達には素晴らしいパワーがあるのだから、どんどん自分と向き合い、どんどん自分の中を突っ込んでいけば、自分の中は大きな喜びと温もりの宝庫だと知っていけるんです。

田池留吉の磁場に心の針を向けて、合わせる訓練はそのことを可能にします。楽しんでトレーニングしていきましょう。どんな自分が出てくるか楽しみでしかありません。そして、どんな自分も喜びと温もりを伝えてくれることに変わりはありません。

心の針の向け先がきちんとしていれば、もう道を外れることはないです。苦しんで悩んで迷ってということはもちろんありません。

心の針が合うということはそういうことです。向け先はたった一つです。いつもそこに心の針が向いているか、それを確認していれば、何のことはない、自分がどんなに幸せであるのか、手に取るように分かります。

向け先を知る、知って合わせられる、こんな幸せなことはない

んです。

生まれてきてよかった、生まれてきた甲斐があった、しみじみ感じられる瞑想の時間をたくさん、たくさん持ちましょう。

私は、自分を大切に、自分に誠実に、これからも生きていきます。

アルバートと呼ぶたくさんの私にもう絶対に背を向けることはありません。優しさと温もり、そして、喜びの波動、エネルギーを心に感じているんだから、そんなことできる道理がないんです。

意識の流れという一本の道を、喜んで、喜んで淡々と歩く、その中心棒さえ確立していれば、その他のことは自然と整っています。整えようとしなくても整ってくる、意識の世界に連動する肉の世界だからです。

私は私の前にある道を、ひたすらに真っ直ぐに歩き続けるだけです。右も向かないし左も向かない。ただ真っ直ぐに前を見ていくだけです。

自分がどのように存在していけばいいのか、もう私の心の中にははっきりとした答えがあります。

中心棒の補強に努めていくために、これからの時間と空間があって、そして、私は自分の中で大きな仕事を遂行していくことを、日々の瞑想から感じ取っています。

瞑想は私にとって、とても大切な時間です。私の中で対話できます。本当の自分の世界からのメッセージを私は受け続けます。その波動の世界は、今の言葉で言えば、田池留吉の磁場ということになります。

そこに自分の心の針を向ける、合わせる、ただそれだけです。

あとは、生活を適当に楽しんでいけばいい。中心棒の確立、それが私の今世の目的だったから、私の思いは来世の私にどんどん向けていきます。

確かにこの学びは間違っていたと自分なりに気付けば、何度でもUターンできるかもしれません。

そのたびに反省もどきの反省をして、今度こそはと決意を新たに学んでいかれるのも自由です。

しかし、その心を本当に自分の中で見つめ直していくというのは、反省もどきの反省では、また同じ轍<sup>てつ</sup>を踏む危険性は多々あります。

そうかといって、今世、こうして生まれてきて学びと出会ったという事実があるのだから、やはりどんなに遠回りをしてでも道草を食っても、自分の軌道を修正する方向に生きていくしか道はありません。

そのあたりのことを、どれだけ真摯に自分に誠実に報いていくか、これからの転生において大きな課題となるでしょう。

簡単なようで難しいんです。意識の転回、反逆の心を転回することは、言ってみれば、なりふり構わずに突き進む元気というかエネルギーが必要です。私は体力、気力、十二分にあるうちに自分なりに成果を上げたと信じています。それが私のセミナー会場における闇出しのお勉強でした。

私はそのお勉強を経て、今、磁場と反転のエネルギーを自分の

中で学んでいます。私は私に満足しています。これからのことを思うだけで、もう私は幸せなんです。瞑想をすればありがたいか返ってこない。本当に今、こうして学ばせていただいていることに、ただただありがたいだけです。

学びの形態はその時々の流れによって変化します。

しかし、その中心棒は全く変わることはありません。自分の中に本当に次元移行へ突き進んでいく中心棒が着実に確立しているのかどうなのか、いつも、自分と自分の中で対話しながら進めていく学びの形態は、基本的に何ら変わることはありません。

中心棒の確立なしに、右を向いて左を向いては、さあ、ともに学んでいきましょうという掛け声も空しく、段々とその軌道は外れ、そして、いつの間にか遠くに外れていくというのが、目に見えない意識の世界のお話です。

自分の中の真実、本当の温もりと喜びだけを見つめて、そして、その自分を感じながら歩みを進めていく、これから250年、300年、そして、そのずっと先へ、そうしていけるだけの確信を自分の中で持つ、それが中心棒の確立、自己確立です。

田池留吉の磁場に自分の心の針を向けて合わせていけば、どんどん自分が伝わってきます。

だから嬉しいだけです。どんなに凄まじいエネルギーも本当に嬉しいだけです。今、自分に本当の喜びと温もりを伝えられるこ



とが嬉しいだけです。

そして、喜びと温もりのエネルギーを心に感じるからこそ、さらにどんどんどん自分が感じられるんです。

自分を感じる、自分が伝わってくる、それがたまらなく嬉しいです。

すごいエネルギーなのに、そして、そのエネルギーの中で、過去の私は苦しみ喘ぎ続けてきたはずなのに、今はそんな自分をどんどん感じていっても、ただ嬉しいだけです。心が広がっていくんです。

だから、自分を解き放していくたった一つの道は、温もりの自分を本当に心から信じている自分に蘇っていくことだということが、はっきりと分かります。

私は、もう自分のエネルギーに翻弄されることはないでしょう。どんなに凄まじいエネルギーも、自分の中で包み込んでいけると知ったからです。

そして、その時に発するエネルギーは、ただただ喜びだけ。その喜びのエネルギーが次元移行へ自分を引っ張っていく、私はそんな自分の意識の世界を心に感じています。

元気だった人が突然の病に見舞われ、そして3ヶ月後に死んで、今世の私の計画してきた現象は、自分を正しい軌道に乗せるための現象として超スピードで私に示してくれました。

自分で計画してきたスピード感。

それでも、今世は、こうして自分の中の中心棒が揺らぎなくな

るまでに、20年近く費やしました。

そして、今という時を迎えています。私は私の歩みに満足しています。自分に誠実に生きる、自分に絶対に背を向けない存在の仕方を心で学んできましたし、これからも、私は私の心で学び続けます。

来世の私は、今世の私の結果を受けて、さらなるスピード感を持って、真実の方向へ一直線に突き進むことも、私の中で知るところです。

だから、私は目を閉じて自分の心に響いてくる世界を感じられることが嬉しいんです。

どんな私でもいい、どんな凄まじいエネルギーを感じてもいい、ただその私とともに次元を超えて存在していけることが感じられるから、ただただ嬉しいんです。

磁場、反転と一瞬にエネルギーを発する、それが意識の世界の仕事だと感じます。

形ある世界が本物だと思い込み、信じ込んでいたものを、そうではない、そうではないと自分の中に伝えていくことには、確かに時間がかかりました。人間はエネルギーだ、私はエネルギーだと本当に心で感じられたのは、自分の中からどうにも止めることができないエネルギー、そして、全くこの肉というものとは関係がなく飛び出してくるエネルギーを自分の肉を通してつぶさに感じてきたからこそ、それも何度も、何度も繰り返し感じてきたからこそ、私はエネルギーだ、エネルギーそのものだとそこで本当

に心で知るに至りました。そして、そこから私の勉強が本格的に始まったのでした。

今は、反転と一瞬に発すること、意識の世界のお勉強はこれだと私は思っています。

ダラダラと時間をかけて学んでいくものではないことが分かるんです。

どんどん前に進んでいくには、本当に一瞬に発するエネルギーのすごさ、素晴らしさをどんどん心で感じていく学びを自分の中で実践していくことだと感じています。

この磁場と反転のお勉強は、それを私に伝えてくれています。瞑想の中で一瞬、針を合わせるトレーニングを積んでいきます。

私は、前向きな人と学びの歩みを進めていきたいと思っています。

私は、チャネラーでも何でもありません。ただ、私は、田池留吉が指し示す世界を自分の心で確立するために、今世ここにこうして肉を持たせていただいていることは自分の中ではっきりとしています。

そして、私のその計画は順調です。私は、自分の道が見えています。これからの自分を心に感じています。

しっかりと心の針を向け合わせていくことを楽しみながら、淡々とやっています。

それが私のするべきたった一つのことだからです。その私の中の思いと肉が今世、ようやく一致したんです。肉とはこういうも

のだよという自分からのメッセージを素直に受け取れるようになりました。

私はそんな私に喜んでいきます。

だから、私の心の中で、アルバートが広がっていくんです。その世界を前向きに感じていけるような人達と歩みを進めたい。面倒な人は苦手です。私とともに歩みを進めていってくれる人達、私は待っています。

磁場と反転の実践を日常生活の中で試みる。また、自分の意識の世界の中で実践をする。そして、瞑想を続けていく。

そうすれば、その瞑想の中で、自分はなぜ生まれてきたのか、なぜ、今ここにいるのか、それがどなたの心にも響いてきます。もちろん、その答えも伝わってきます。

その自分の思いに沿って、日々の生活を送っていくと、さらに、自分を感じていく時間というか、自分を真正面から感じていく時間を作りたいと自然に思いが上がってくると思います。

それが、自分の日々の生活の中で、瞑想をする時間をきちんと確保するという形になってきます。

瞑想は、本当に大切な時間です。時間が取れるときは、長い瞑想を。

そして、そうでない時でも、自分の心の針を向け合わせていく瞑想の時間を、どうぞ持ってください。

心で感じていく、感じていける喜びの時間、大切にしていきたいと思います。

田池留吉の磁場に心に向け、反転のエネルギーを心に感じる瞑想を続けます。

私の中に喜びのエネルギーを感じ、そして、私の中へどんどん進んでいきます。

ゼウスに心向けます。

私の中にゼウスの喜び、喜びです。喜びの中に、温かい温もりの中に私達はあります。

意識の世界、波動の世界は、どんどん母の温もりを心に感じていくごとに、私の中は解き放たれていきます。

田池留吉は言いました。私はまだまだ大きなエネルギーを握っている。ブラックを握っていると。

そうです。確かに私は握っています。しかし、そのエネルギーこそ、私を次元移行へと引っ張っていつてくれる大きなエネルギーです。喜びのエネルギーです。私はそのエネルギーに心向けられることを喜びとしています。

私の中にはどんどんどんどん温もりが広がっていくんです。田池留吉の磁場の中へ、私がどんどんどんどん進んでいくのを感じます。

ありがとうございます。ありがとうございます。宇宙へ心を広げていく時、私の喜びが心に感じられます。

ゼウス、たとえば、ゼウス、その言葉で私は表現させていただきました。大きなエネルギーです。すごいエネルギーです。その

エネルギーを本当に、本当に大きく、大きく、大きく、とてつもなく大きく限りなく、限りなく包んでいる温もりの、そして、喜びのエネルギーが私の中にあることを、それがこのエネルギーを心に感じるたびに、私の中は喜びだと伝えてくれます。

ありがとうございます。ありがとうございます。

田池留吉、アルバートに心を向けていきます。私の中にアルバートのメッセージが届きます。

「心を広げて、広げて、広げて、広げていきなさい。心の針を向けて合わせていく喜びです。喜びが喜びを生んでまいります。ブラックのエネルギーではありません。喜びのエネルギーです。

その喜びのエネルギーをどんどん広げていくんです。

ああ、もっと、もっと広がっていきますよ。広く、広く、広がっていきます。」

私は私を過大評価しているのでしょうか。過小評価しているとは思えません。私は私を正当に評価していると私自身は思っています。田池留吉、アルバートの意識の世界からメッセージをください。

私とあなたは一つの世界にあります。私に心を向けるということは、あなたがあなたに心を向けるということです。あなたがあなたに心を向けるということは、私が私に心を向けるということです。

分かりますか。あなたが心に感じていることは、私も心に感じ

ていることです。つまり、あなたが心に感じていることは、私のメッセージなんです。

このことを信じていく、それが大事です。私とあなたは一つと伝えています。

あなたが感じていることは、私が感じていること。私が感じていることは、あなたが感じていること。

そのことをしっかりと自分の中に広げていってください。

私からのメッセージです。

あなたはご自分を過小評価もしていなければ、過大評価もしていません。

あなたが心で感じているままを、あなたは語っているに過ぎません。

あなたの中にはたくさんのたくさんの自分があります。

たくさんの闇のエネルギーを培ってきたあなた自身があります。

しかし、その闇の部分をあなたは、しっかりと見つめ、そして、反転のエネルギーを向け、あなたの中の温もりと喜びの中へ包んでいく作業を、淡々とやっています。それでいいんです。そうしていけば、あなたの中から、もっともっとすごいエネルギーが出てきます。それはすべてあなたが作ってきた世界です。その世界こそ、あなたが次元移行へ自分を引っ張っていくエネルギーだと言いました。

その通りです。

大きなエネルギー、すごいエネルギー、それらはすべて喜びです。

ブラックではありません。あなたはすでにそのことを心で感じています。どうぞ、あなたの道を、今感じているあなたの道を着

実に淡々と進めていってください。

私達は、250年後に出会うとき、それは、それはすごいエネルギーを心から発信していきます。

あなたはすでにそのことをご承知です。あなたの来世が語っているでしょう。あなたの来世です。あなたの来世は今のあなたのお勉強をしっかりと引き継いで、私のこの肉とともに、あなたの肉とともに250年後、そして、それから約50年という年月をかけ、次元移行へとこの宇宙が移行していくんです。そのことをあなたは心にしっかりと感じているはずです。

あなたのお勉強は、これからどんどん自分の中で進んでいきます。

そのための環境は整えられています。色々な人達があなたを手助けしてくれるでしょう。

その手助けの中に、あなたは素直に「はい」と入って、あなたはその心に感じたままを波動として流していくんです。それですべてがOKです。

設定はすべて整っていきます。あなたはただただ心の針を向け合わせていく、その喜びをあなたの中からどんどん波動として流していくだけです。エネルギーが仕事をします。喜びのエネルギー、温もりのエネルギーが仕事をしていきます。あなたの肉はそれに乗っかっていくだけです。どうぞ、そのところをしっかりと心に刻み、あなたの学びを続けていってください。田池留吉、アルバートにどんどん尋ね、田池留吉、アルバートのメッセージを波動として流していきなさい。喜び、温もりのエネルギーはあなたの中から止めどなく出てまいります。湧き起こってくるんです。



際限なく出てくる喜びのエネルギー、温もりのエネルギーです。そのエネルギーを惜しみなく宇宙へ流し続けていく、それがあなたのこれから250年、300年に至る仕事です。私達は、ともに、ともに進んでまいります。

喜びのエネルギー、温もりのエネルギーの中にすべての意識達を帰してまいります。喜びです。ありがとうございます。

田池留吉、アルバートは、今、あなたの中から語っております。

「幸せでない人なんて一人もいない。みんな初めから幸せだった。それが分からなくなっていったのが私達だった。自分を捨てた、自分を知らない私達だった。」

静かにゆったりと今の自分の世界を感じていけば、こう伝えてくる私があります。

永遠の幸せと喜びが本当にあることを伝えていただきました。だからこの肉は幸せです。肉を通して自分の中を感じられる今、中の思いに肉を通して伝えていける今、そんな今があることが嬉しいです。

「自分を救い、自分に本当のことを伝えていけるのは自分しかない。宇宙には自分があるだけ。」

当たり前のことなのに、このことが心に本当に響いてくる、そうだと感じるのがどんなに幸せなことなのかと思う毎日です。

心向ければ伝わってくる世界。思う喜び。思える喜び。そんなことを今世の肉を通して学ばせていただいたことに感謝です。ありがとうございます。

今、磁場と反転を学んでいます。

その中で、「ありがとう」と本当に心から発信していく温もり、優しさ、喜び、パワーを学ばせていただいています。

磁場、そして、反転としていけば、必ず「ありがとう」という思いが出てきます。

「ありがとう」、これにみんな込められています。

「ありがとう」、心からそう言える、思えるとき、自分自身が本当に幸せで、嬉しくて、みんな愛の中にあるんだと心が伝えてきます。

磁場と反転の実践の中で、瞑想の中で、温もりに触れていけることがただただ嬉しいです。温もりです。優しさです。そんな自分に触れていくことができる、それが磁場と反転の実践、そして瞑想です。

瞑想では、どんどん異語が出てきて、異語で対話して、自分の中が解き放たれていくのが感じられます。アルバートを感じている喜び、アルバートを共有していける喜び、それを異語を通して自分の中に伝え合っています。

喜ぶ、喜んでいればいい、それは簡単なようで簡単でなくなっ  
てしまいました。それが私達人間の愚かさでした。

「喜びを忘れてきた。そして、欲ばかりを膨らませてきた。欲の  
思いと合致することは喜べた。それが喜んでいることだと思っ

てきた。それが日々、感謝の思いで生きることだと思ってきた。ただ自分の欲を満たしてただけだった。」

大方、私達の歩みはこんなところだっただろうと思います。

それを根底から覆すことは、やはりとても難しいことです。そして、根底をそのままにしているのは、つかんだ神の世界を離すことはできません。

そういうことをしっかりと踏まえて、今、磁場と反転をしっかりと学んでいきましょう。

今、今世、学ばなくていつ学ぶ、どうぞ、今世、学びに出会った人は、これを合言葉に、自分を繋いでいってください。

一人で瞑想。学びの友と瞑想。学びの形は色々あります。

しかし、どんな時も自分の中に心の針を向けることには変わりはありません。自分の中と対話することには違いはありません。

一人で、ゆったりと静かに瞑想をする時間を持つ、これはまず絶対に必要です。

次に良い学びの友達を持ちましょう。

自分の中がしっかりと確立してくれば、その見極めは自然とできてきます。

欲で繋がるのではなく、喜びを共有できるような学びの友があればいいと思います。

いつも、自分と自分の中で対話して、まず自分の方向を自分で定めていくような学び方をなさってください。友がそれを教えるとか諭すとかそういうのではなくて、自分の心が決定していくん

です。

母の反省、ゼロ歳の瞑想、他力の反省等を経て自分なりに準備が整っていると思います。

そのうえで、今、しっかりと磁場と反転の学びをやっていきましょう。

心の針をどの方向に向けていくか、これを伝えもらったこと、学んできたこと、このことは本当にどれだけの愛なのかということです。

この一点を本当に自分のものにしていき、どんどんどんどん針が合っていけば、幸せな自分しかない、喜びのこれからしかないことがはっきりとしてきます。

そういうことを知って感じて、今の肉とともに生きていく時間はどういう時間なのかは、もちろんはっきりとしています。

それがあるから、肉の時間は楽しいんです。肉の時間は幸せなんです。

それがなければ、どんなに満たされた生活であろうが、空虚なものです。肝心要の部分が見えない生活は空虚です。

肝心要の部分が見え、そして、それが自分の現実のものとなったから、あとはその部分の補強に努めています。

思うということ、心の針を合わせていくということ、それに勤しんでいます。喜びの中で、温もりを感じながら、心の針を合わ

せる作業、瞑想の時間をいただいています。そういう状態に今あることが幸せです。

瞑想は喜び。本当に瞑想は喜び。思えば、どんどん心が応えます。

ああ、これが私の現実なんだ、ああ、これが私なんだ、私が私を感じていける喜びがどんどん広がっていきます。喜びとともに、温もりとともに、アルバイトとともに、そういうことが心にはっきりと響いてくるんです。

たまらなく幸せです。本当の自分に帰っていく道、私の中で現実のものとなりました。これからの250年、300年の喜びの波が怒涛のように押し寄せてきます。

「本当の自分に帰る道を知っていきます。自分を見つめていきます。」

素直に真面目に思っている人だと私が感じたならば、私は、自分の感じているものをストレートに異語で語ります。

私達はこんな間違いをしてきました。しかし、今こうしてその間違いに自分で気付いていく計らいの中にあるんですということを、私は心から伝えるでしょう。

私は自分の心で体験したこと、確信したことを語ります。

自分達のこれからのこと、どのように存在していけばいいのかということ、私は私の心で感じたものをストレートに語っていきます。

そんな学びの友との出会いを私は待っています。

喜びを共有できることが、私にとって最大の喜びです。

私は、自分が帰る道を知りました。あなたはどうか。あなたも、自分の帰る道を知ってください。そして、私達はその喜びを共有していきましょうと私は伝えたいです。

気付いていけば、自分の中にすべてが整えられていました。

幸せになるのもならないのも、幸せだと思えるのも思えないのも、全部自分の心の中にありました。

自分が一体何を握っているか、つかんでいるか、それはそれぞれが自分で精査して自分で気付いて、そして、それを反転としていく以外に方法は何もないです。

こうすればこうなるという学びの手順はすでに披露されているし、今は、磁場と反転を素直に実践してくださいと示されています。

そして、やはり最後は瞑想です。

自分の心の針を向ける、合わせる瞑想の時間を持ち、そのトレーニングを積むということでしょう。

それは、義務でもなければ頑張りでもないです。そうすることが自然なんです。自然にそうやっていることが、もうすでに幸せの自分、喜びの自分を感じているんです。だから、自然に瞑想をして、自然に心の針が合ってくるんです。

そうすれば、全部自分の中にあったことが分かってきます。全部自分でした。宇宙には自分しかいないことが確認できて、それがまたたまらなく嬉しい。喜びと温もりの中で一つの自分しかなかったんです。

私は何か嬉しい。何か最近またふっ切れたような嬉しさがあります。

とにかく私は前向きな人がいい。ともに学んでいこうと呼びかけてくれているのだから、それに前向きに応えていこうとする人は、面倒でなくていいです。私は面倒な人は苦手。

私は、Yes、No がはっきりとしています。右か左かがはっきりとしています。特に学びに関してはそうです。

Yes、No がはっきりとしている人と学びを進めていきたい。またもうそういう時期にすでになっていると思います。

250年後、300年後はこうなんだ、次元移行を目指していると言っているのだから、そんなこと信じられないとか、分からないとか、もうそういうことをぶつぶつ言わないで、もっと前向きに、Yes、No をはっきりとさせて、学ぶ人はともに学んでいきましょう。

母の反省、ゼロ歳の瞑想、他力の反省、そして、磁場と反転の実践と瞑想をやっていけば、もうどんどん心に感じ心に響いてくるはずです。

今世、こうして出会い、ともに学んできたことを無駄にせずにいきましょう。

Yes か No か。それは自分の心が決めることです。決定権はいつもどなたも自分にあります。つまり、自己選択です。

Yes の人は Yes の道を歩いていけばいいし、No の人は No の

道を歩いていけばいいんです。

全く強制のない、縛りのない世界です。それが本来の意識の世界です。

そして、自己選択の結果はすべて自分のものです。それも意識の世界の法則です。意識の世界の法則は曲げることなど絶対にできません。

$1 + 2 = 3$ 。だからアルバートの世界は信じられるのです。心を素直に向けていけばいくほどに、どんどん応えてくれる世界です。

アルバートと呼ばば、アルバートを思えば、どんどん心に響いてくる喜びと温もり。

田池留吉氏が全身全霊で伝えてくれたアルバートの世界。

私は、絶対にもう反逆することはありません。その心を今世、しっかりと見つめてきました。だから、今の私があります。これからの私があります。その世界は、 $1 + 2 = 3$ の世界。

この世界を抱えて、私は250年、300年と自分を繋いでいける、その喜びと今、出会っているんです。

だから何か嬉しいというのは、私自身はその何かが分かっているんでしょ。曖昧な表現でも、私には曖昧ではないところに喜び、幸せを感じています。

学びに前向きな人達とともに学んでいくことは本当に喜びです。

ぶつぶつ、ぐずぐずはいただけません。どれだけ己が高いかということですよ。



私もやればできるんだ、前向きに素直にやっていけば心で分かるんだ、心でわかっていくということはこういうことなんだ、その自信というか確信を、何としても今、田池留吉の肉がある今のうちに、自分の中に持てるように精進していただきたいと思います。

大変な時を迎えていきます。

いたずらに自分の心を振り回されることなく、心で感じ心で信じられるものだけをしっかりと見つめて、今世の時間を生きていきましょう。

そして、それぞれの転生の中で、どうぞ、ご自分を250年後に繋いでください。

今世、出会いがあった中で、一人でも多くの人との250年後の再会があることを望みます。

もちろん、私は、250年後の出会いだけでドーンと突き進む意識達との出会いも楽しみにしています。

ともに学んでいきましょう。歩みをともにしていきましょう。

私達は、意識の学びをしています。目に見えない世界を学んでいます。

目に見えないけれど、自分の心で感じ分かる世界を学んでいます。

しかし、そこには言葉が介在してきます。もちろん、言葉は波動ですが、波動として受け取れるだけの力量がなければ、言葉は形の世界のものとして、この世の常識、つまり形を基盤とした物

の見方、考え方に沿ってとらえられてしまいます。当然、そこには、誤解、曲解、大きなズレが生じていきます。

その誤解、曲解、ズレのままどんなにこの学びを理解しよう、私達が語っていることを理解しようと思ってもできません。

誤解、曲解、ズレはどうして生じたのか。自分は誤解、曲解していないか。自分はズレていないか。

学びは自分のためにやってください。自分が自分を学ぶために生まれてきて、今の環境の中に身を置いていることをしっかりと確認して、そして、自分のために学んでください。地獄の奥底から少しでも浮上できるチャンスなんだという認識をしっかりと持ってください。

自分を学ぶために生まれてきたことが心に響いてくれば、自分がどんなに幸せであるか、それは本当によく分かると思います。

自分を学ぶために、こうして肉という形を持ってきて、そして、これを維持していくためには、ある程度この世の流れに流れていく必要があるけれど、それは本当にある程度でいいこともよく分かってくると思います。

世の中が動き、世の中の流れがどんなに変わっても、そのような動き、流れと、自分の中の動き、流れとは全く異質のものだと感じてくると思います。

世の中と同じように動いて、流れていては、これまでの自分と何も変わらず、です。肉として生きやすい生き方をその都度、その都度選び、ともに地獄の奥底へ沈んでいってしまうのです。

世の中の動き、流れに逆らうのではなくて、その動き、流れの中でも、決して自分の流れを見失うことのないような生き方を、一日でも早く自分の中に確立すること、それが自分を救う唯一の手段です。

田池留吉を思うこと、母を思うこと、磁場に心の針を向けよう、合わせようとする、これらのことを自分の肉を通して伝えていただいたこと、これは、本当にかげがえのないことなんです。

その自覚が、それぞれどの程度あるでしょうか。瞑想をしてください。瞑想をする時間を確保してください。

何ら変わることはない私の中の真実。言い切れることがすでに喜び。

私は私の人生を歩きたい、誰のためでもない私自身の人生を生きたい、そう願い続けてきた思いが、やっと現実のものとなったことに幸せを感じています。

本当に自分のことを思い、本当に自分に誠実に忠実に生きる、存在する、これは簡単なようで難しいことです。ともすれば単なる自己本位になりがちです。

しかし、きちんと心の針の向け先を知っていけば、そういうことには絶対にならないことを学ばせていただきました。

自分にありがとうと言えることは本当に嬉しいです。自分を苦しませ、自分を翻弄してきた凄まじいエネルギーにありがとうと言えます。温もりと優しさの自分に触れたから。それが何ら変わることはない私の中の真実でした。

時間を作り、お金を工面して、体調を整え、家族その他の人のご協力を得て、今回もまたセミナー会場に足を運ぶことができるのだから、可能な限り真剣に真面目に、そして、素直に、自分と向かい合う時間にしてください。

自宅学習を重ね、最善の状態です。セミナー会場に来られることを期待しています。心で感じ心で分かるセミナーです。どうぞ、ご自分の心をしっかりと見て感じて、そして、過去の自分と未来の自分とともに学んでいってください。すべてはあなたの中の世界です。あなたがあなたに伝えていく喜び、伝えていける喜びを、どんどん感じていってください。

第12回セミナー資料にも書かせていただいたように、私達は次元移行へ、ただただ次元移行という意識の流れに乗って、真っ直ぐに喜びで邁進していくのみです。

あとのごちゃごちゃはもういいんです。

すべては意識の流れの中の出来事です。磁場と反転の瞑想を重ね、ゼロ歳の瞑想を重ね、そして、次元移行へ自分の照準を合わせていく、そういう生き方、存在の仕方を今世、きちんと自分の中で確立すること、できること、それ以外の人生は本当の人生ではありません。

どんなに煌<sup>きら</sup>びやかな華々しい人生であっても、それはうたかたの夢。

地獄の奥底から浮上するチャンスをものにしてこそ、喜びと幸せが自分の中で花開く、これは間違いのない現実です。

第12回U T A会セミナーで、私の勉強の新たな第一歩が始まったように思っています。

それにふさわしい現象が、セミナーから帰宅した私を待っていました。

自分の未熟さを感じながらも、それでも肉体という形の果たす役目というものを感じさせていただき、意識の世界は何の狂いもないと実感する現象でした。その現象もまた私の中で確実な意識の流れの一コマとして、これからの私に役立っていくような感じがします。

とにかく、今は、セミナーが予定通り滞りなく終えられたことを喜んでます。すべては計らいの中にあること、喜びとありがとうだけを伝えてくれていること、ただひたすらに真っ直ぐに自分の歩みを続けていくこと、それらのメッセージを糧に、U T Aの輪の中で日々勉強していきます。

セミナー帰宅直後に私を待っていた出来事は、形からすれば悲しい辛い出来事でしたが、私の中に伝わってくるものは、粛々として流れていく意識の流れの喜びでした。

ありがたいの思い、喜びの思いとともに、こうしてともに行こうと、はっきりと伝わってくる波動を感じ、ありがたいの中で、

喜びの中で、温もりの中で、自分の暗い部分にそれらを伝えていける今があることに、ただただ幸せなんだと思っています。

思えばありがとう。思えば嬉しい。思えば、そうただただありがとうだけでいいんだと感じています。

田池留吉の磁場と反転の瞑想を重ね、私は私の中をどんどん進んでいきます。やはり、第12回のUTA会セミナーは私の勉強の本当に大きな始まりとなったと実感しています。

田池留吉の磁場、喜び、温もりに心を向ける、思う。このことを今、肉を持って実践できることに、ありがとうしかありません。本当にありがとうしかありません。

人間はつくづく欲の塊だと感じます。人間だけが欲の世界を作ってしまったんだとつくづく感じます。

思う先には何も無い。ただ喜び、温もりが広がっていく。そして、嬉しい、ありがとう、それだけ。そんな単純な世界を捨て去って、だから、本当の喜びも本当の温もりも、本当の幸せも分からなくなってしまった。それは当然の結果でした。

今、この肉を持って、そして、静かに心を合わせていく時間の中で、私は、自分の中で、喜びにいざなわれていく自分を感じています。心を向けるだけでいいんです。喜びと温もりは自分の中にあることが分かります。だから、思えばありがとうです。思うことが喜びで、思えることが幸せ。

田池留吉の磁場とあって瞑想をすることがすべて、実感です。

あるのは、喜びと温もりだけ。その他は全部マイナスのエネルギー。

どんなに正論を掲げても、喜びと温もり以外は全部マイナス。そして、マイナスはプラスに反転していかなければマイナスのまま。

マイナスをどんどん製造してきた人間は、確かに喜びで生まれてくるけれど、本当に喜びで生き、本当に喜びで死んでいくことは難しいです。さらに死んでからも喜びで存在することは極めて難しいです。

なぜならば、ずっと肉、形が自分だと思い続けてきたから。だから、人間には死の問題がずっと残っていきます。しかし、人間以外には死の世界がありません。

喜びで存在するということは、生きていても死んでいても田池留吉の磁場を思えるということ。それが喜びで存在するということ。そして、それは決して難しいことではないけれど、自然から遠くに離れてしまった人間には難しくなっただけのことです。300年は長いようで短い。しかし、その道筋は決まり、計画は順調です。ばく進、邁進、そんな言葉が出てきます。

ありがたいが広がっていく瞑想の心地良さ。貧しくて愚かな世界を作り続けてきた自分の中で、今、こうして、瞑想の心地良さを味わえることは本当に幸せです。自分にありがたいと言える嬉しさと優しさに出会っています。

私の今の環境は整い過ぎています。幸せに満ちています。何の悩みもなければ、憂いもありません。意識の流れの中にあることを確実に知るために、こうして学ばせていただきました。ふと気付けば、私の周りは整っています。整い過ぎています。怖いほどに幸せです。

次元移行に至る250年、300年の意識の流れ、そして、それから先の自分自身。田池留吉の世界、磁場に向ける瞑想の中で、心に響いてくるものを信じ、その信を深めていけばそれでいいと感じます。今という時をありがとうございます。出会わせていただいて本当にありがとうございます。

私は、喜んで、喜んで、今の環境、学びに続く今の環境を受け入れ、しっかりと自分の中を感じていく方向に、ますます進んでいくでしょう。

心に感じ、心に広げている世界は、紛れもなく真実へ限りなく近づいていくことを教えてください。

今のこの肉を通してまずその第一歩を踏みしめました。そこから私は着実に自分の歩みを進めていると感じています。私の歩みは、後退はしない。きちんとその方向を定め、確実に一歩を進めています。

行きつ戻りつの歩みではありません。自分が決めてきた道筋には、何の狂いもなく、何の変更もありません。

田池留吉の世界、磁場の瞑想を通して、私の心にしっかりと響いてくるんです。私はそれを基盤に歩いていだけなんです。進んで



いだけです。その姿勢は一切変わることはありません。もちろん、ともにと呼びかけます。しかし、呼びかける心の中には何もありません。私の中にあるのは、次元移行へという思いだけです。その思いを確かなものにするために、私は今世生まれてきたんです。

第12回UTA会セミナーのところに話を戻しますが、このセミナーは本当に大きな意識の流れの節目でした。

その始まりは、セミナー開催日一週間前の田池先生の緊急入院、手術、そして、退院という一連の出来事でした。

緊急入院されて、手術から退院まで僅か4日間という短期間にも驚きますが、もっと驚きの体験がありました。

舞台は、自宅の風呂場でした。

朝の6時半頃とはいえ、夏真っ盛りの今、湯船（湯温40℃）に約2時間半の長時間に渡って胸まで浸かったままの状態で見送られたのです。

呼びかけにも応じない、頬を叩いても反応なし、顔色は土色、意識を失った状態のまま救急車で搬送という事態にもかかわらず、前に発症された脳梗塞も起こさずに、それどころか、救急車の中で意識を回復されたときは、自分の名前も生年月日もはっきりと告げて、意識が飛んだ空白の時間は何であったのかとってしまうほどの回復ぶりだったようです。

実際にそんな長時間、今の時期にしては高い湯温の中に胸まで浸かった状態ではいられないです。脱水状態はもとより、もっと

大変な事態になっていても決して不思議ではないです。

そして、搬送先の病院もなかなか決まらずに、しかし、ようやく受け入れが決まったのが、とある市民病院でした。そして、その病院と連絡を密にしている大学の附属病院で緊急手術ということになりました。それは約2時間半の手術。聞けば頭に2か所穴を開けて、片側からは水を、そして、全体のバランスから、もう片方からは血液を抜くという手術。

そんな大変な手術だったのに、その直後に面会した私達は、先生の本当に普段と何も変わらない元気な姿を見せてもらい、声を聞かせてもらって、よかった、やれやれと安堵しました。

翌日、病室を訪ねた私達は、もうベッドの上に座っている先生にまたびっくりでした。

病室での先生のお話は、この一連の出来事を一通り語られたあと、間近に迫っているセミナーのことばかりでした。

先生の話によると、どうやらこの一連の出来事は、セミナーの引き継ぎをスムーズにしていくために仕組まれたものだというものでした。

すべてが予定通りに流れていっていると言うんです。長く湯船に浸かり意識を失っていても、きちんと発見する人が用意されていて、その人達が適切な手配をしてくれたこと、肉的にはもうダメかもしれない状態なのに考えられない回復をしたこと、すべてが不思議と驚き、そして、きちんと用意されている意識の世界のことだったと言うんです。

私自身は、田池先生が緊急に頭の手術をされるという一報を受けたとき、驚きはしましたが、私の中に田池先生の死は出てき

ませんでした。しかし、田池先生が言う、セミナー云々の思いも感じ取れませんでした。それよりも、先生の状態如何によっては、セミナーはキャンセルかと考えていました。しかし、先生にはそんな思いは全くなく、セミナーの引き継ぎばかりを話されていました。

私にしてみれば、そんなこと急に言われてもと戸惑う思いのほうが強くて、こんな元気な先生だから、今はこう言っておられても、いざセミナーになれば、いつも通り田池先生が全部されるだろうと思っていました。

それが、予定よりも早く無事退院されて、セミナーが近づいてくるにつれて、ああ、今度のセミナーは先生の言われる方向に行くんだなあと感じてきました。正直に言って、今度ばかりはセミナーが待ち遠しいというよりも、何か落ち着かないというか緊張する思いが出てきていました。

私はそういう心の状態でセミナー当日を迎えたんです。そして、2泊3日のセミナーの間に、拙い未熟な私にとって、貴重な体験をさせていただき運びとなったのです。私は今回ほど、セミナーをしている田池先生のすごさを感じたことはなかったです。意識の世界、田池留吉の世界まで持ち出さなくても、田池先生はすごいと私は感服しました。

セミナー前から色々あった今回のセミナーも無事予定通り終了して、私は家路に着きました。

繰り返しになりますが、第12回UTA会セミナーは、意識の流れの節目でした。始まりはこれまでに語ってきた出来事でした。そして、その終わりの出来事は、肉的には悲しくて辛い出来

事でしたが、意識の世界では、もちろん、喜びを私に伝えてくれて、喜びで私を前に一歩進めてくれる出来事でした。

私は、第12回UTA会セミナーは、田池先生の入院から始まって、我が家の愛犬の急死で終わったと感じています。それらの現象を通して私に伝えてくれた意識の流れからのメッセージは、これからの私にとって大きなものになっていくと思います。

貴重な意識の流れの一コマを通過しながら、UTAの輪の中で私がなしていくことは、田池留吉の世界へ、一歩また一歩と限りなく近づいていくことに尽きると感じています。

心の針を向ける、合わせる、田池留吉の世界を思う、本当にただひたすらそれだけを喜びでやっていくことに尽きるんです。

田池留吉とは何者か、そして、その田池留吉と出会った私とは何者か、それをもっともっと自分の中で感じ取っていける学びが、今、私の中で始まっている、そう言わせていただきたいと思います。

肉的には大変な状態になりましたが、その時、私の中には自分の死はありませんでした。私は意識の世界からの指令により、自分のこの肉体をそのような状態に預けたというかそういうことです。

それによって、生命の危機に陥ることはないことは私の意識は知っていました。私の身体の状態は死んだような、そして、意識が飛ぶ、意識がない空白の時間があったようですが、それらは田池留吉の磁場に通じている意識の世界にとってはどうということではありませんでした。

田池留吉の肉体を一時そのような状態にまでして、そして、そこから意識の流れに沿った事態が進行していくという極めて正確な意識の流れの中の出来事だと、私は感じています。すべては田池留吉の磁場からの動きです。

田池留吉の肉体について、最近僅か1か月未満の間に色々動きがありました。それは、もちろん言うまでもなく、意識の世界の動きです。それに連動するかのよう、私の身近にも起こりました。

すべては意識の流れ、田池留吉の磁場からの大きな動きだと私は承知しています。

田池留吉氏を特別視するというではありませんが、最近の一連の出来事は、特にその身を挺して確実に意識の流れからのメッセージを伝えてくれていると感じています。

そして、先程も連動という言葉を使いましたが、私の中もその大きな節目に呼応するかのよう、何かしら、私の中が変わっていったようなそんな感覚があります。何がという具体的なことは、肉ではまだ分かりません。

しかし、肉でも感じられることは、意識の流れの動き、磁場からの動きということです。

この動きによって、おそらくこれまでに学びに集ってきた人達の外から見れば、一個集団として活動してきたかのような姿が、その形を崩していくでしょう。分裂という表現でいいかもしれません。しかし、その分裂はマイナスのエネルギーが働いたからそ

うなっていくんだというのではなくて、自然淘汰されていくことが、表面上は分裂状態に映るということなんだと私は感じています。

意識の世界を伝えるものは、言葉ではありません。動作、仕草、顔の表情でもありません。波動です。その波動を自分の心でどこまで正しく受け取っていけるか、厳しいお勉強になってくると思います。

私は、愛犬の急死で学ばせていただいたことが大きいです。

これまで私自身、私の勉強として身近な人の死を体験してきました。そのうちの二度は、私の学びにとって、非常に大きなポイントとなりました。

そして、今回の愛犬の死は、肉と意識についての関係を、私の中で具体的なものとして、何か、ああ、分かる、分かる実感でできるようなそんなことを感じさせてくれたものでした。

肉の別れの悲しさ、辛さ、寂しさはもちろん、私の中に上がってきましたが、それよりも意識として、意識の世界の力強い喜びというかそういうものが、私の中に大きく広がっていくのが分かりました。それは、私自身がこの学びを進めていく上で、私を前に一歩押し出してくれたように思います。

もちろん、犬は自然で自分が肉だという思いがないから、彼らには死の世界がありません。別れが辛いと悲しむのは人間だけです。

生きていても死んでいても、つまり肉体という形があってもな

くても、私の中で喜びと温もりを伝えてくれている、そんな意識の世界を学ばせていただいたことがすごいと思います。

今回のこの出来事が、いずれやってくる田池留吉の肉との別れにも大いに生きてくると私は感じました。私は私の勉強を進めていきます。ありがとう、嬉しいと進めていきます。

私の中に絶対に変わらない風景があります。それが本当に嬉しいです。ようやく巡り合えた私の中の風景。自然にふるさとのメロディーが出てきます。ここに私の心を戻していくことができます。

お帰り、よかったねと自分を迎え入れてくれる優しさと温もりが広がっていきます。「私の中にみんなあった」そう分かって、だからこそ、この肉もくつろぎ、安らぎ、肉としての楽しみも受けています。

決して変わる事のない自分の中の真実。ゆったりと静かに心に向けることができる環境です。こんな中に身を置いて、時間を費やしていけることが幸せです。心に向けるだけでいい。喜び、嬉しさ、幸せ、そして温もり、優しさ、そんな中に満ち満ちていた自分だったことが分かります。

その自分を捨て去り、見限り、裏切り続けてきたのだから、自業自得とはいえ、本当にバカな私でした。しかし、話にならないほどにバカだったから、その反対になれば自分のすごさが段々に心に響いてきます。当然にまた自分の中をどんどん感じていこうと自分に訴えてきます。それが嬉しいです。

恵まれた環境の中にあります。しかし、それは全部自分がお膳立てしてきたこと。その自分の思いを心から受け止めて、ありがとうの中に帰していけることがまた嬉しいです。

意識の流れの中に素直にこの肉を委ねていけばいいんだ、本当に最近私の周りで起こった出来事を通し、何かそういうふうにならに思えるようになった、確かに私の心の縛りがまた一つ解けていくような、心が軽くなっていくような、そんな感覚を味わっています。

自分の中に戻っていける、優しさと温もりの中に自分を戻していける、つまりは自分の中でプラスに反転できる喜びを感じています。

自分をもとあった軌道に乗せていくのは、自分でしかできないことを学ばせていただけてきました。

苦しみを引きずっていくのも自分ならば、それをありがとうと帰していく、帰していけるのも自分だと、それが心ではっきりと分かっていくことが、自分に対する最大の愛なんだ、優しさなんだ、温もりなんだと、強く感じます。

磁場と反転の実践の中で、自分の心で感じていくこと、気付いていくことがたくさん、たくさんあります。自分に用意した時間と空間、これからも最大限に活用していこう、そう嬉しく思っています。



自分の周りで起こる出来事を通して自分の心を見る、自分のエネルギーを感じ、それを反転としていく、ただそれだけのことでした。

ただそれだけのことが、本当に何億年も分からずにきたんだということが、瞑想を通して感じてくればくるほどに、本当に今という時間と空間に、この身を漂わせていることがどれだけの愛なのか、私はそう感じています。

すべては私の計画通り。すべては意識の中の出来事。

それは、ピッ、ピッと、あるいはカチッ、カチッと音がするような、ジグソーパズルのピースがきちんと収まるような、そんな心地良い快感を私に感じさせてくれます。嬉しいです。

私は、ただ心の針を向けて合わせていくだけ。それですべてが整ってくる、本当にその通りだと実感しています。

意識の世界を正しい軌道に乗せていけば、何ら思い煩うことなく肉も生活を楽しんでいける。正しい軌道に乗っているからこそ、何ということのない平々凡々の肉の生活も楽しい。私は幸せです。

母の温もりが心に広がり、母の温もりの中に抱かれている自分であることがはっきりと感じられる人は、自宅でただただ瞑想を重ねてください。

そうでない人は、母の反省をやってください。母に使ってきた自分の心を感じてください。そして、ゼロ歳の時の自分を思う時間をひたすらに持ってください。

母の温もりを本当に心に感じているのかどうなのか、まず、そ

ここにポイントをしっかりと持ってきてください。

効果的な学習をしてください。結果を出してください。

学びに繋がっていれば何とかなる、今世学びに繋がったから、250年後の出会いがある、そんな甘いものではないことを知ってください。

実際に、今世学びに繋がらなくても、これからの転生を経て250年後をともしする意識達があります。意識の流れは、粛々と、そして、着々と計画を進めています。

セミナーに集うことが学びではありません。自分の心を見て、自分の中を反転させていくことが学んでいるということです。

もちろん、セミナーに集える環境にあれば、喜んで、喜んで集ってください。その場に自分の肉体を運べるということは本当に幸せの一語に尽きます。そのところを自分の心で明確に感じ取っていったならば、自分の歩みは一步前に進みます。

そのためには、自宅学習をきちんとこなしていくことは最低の条件です。自宅学習をしてセミナーに臨むことは当たり前のことです。

日々、瞑想もしないで、反転どころか依然として自分の闇を垂れ流した状態の人が、セミナーにどれだけ集っても殆ど効果はありません。何の効果かと言えば、自分を繋いでいく軌道に自分を乗せていく効果です。その効果が薄い、弱い。それでは何とももったいない話です。もったいないというよりも、本当に哀れです。どこから自分がやってきたのか、もっと自分の心で感じてみてく

ださい。

田池留吉の世界、田池留吉の磁場に心を向けてくださいと言われても、それは形があるものではありません。U T Aの輪も同じです。形があるわけではありません。

しかし、田池留吉の磁場もU T Aの輪もあなたの心の中に存在しています。

母の反省が進み、そして、同時に他力の反省が捗っていったならば、どなたも自分の心の針の向け先がある一定方向を指してくるようになってきます。本当のあなたは、その方向を知っているからです。一定方向とは、言うまでもなく一つの方向です。向きは一つです。それがあちらにもこちらにもある訳はありません。

そして、それを見極めるのは、それぞれの心です。欲で、つまり頭で、心の針を向けようとしても、絶対に向かない。あなたの心が納得しない限り、正しい方向に自分の心の針を向けることはできないんです。あなたの心を納得させるのは、あなたの中の温もりです。優しさです。

意識の世界は正直です。それを波動と言っています。本来の波動に共鳴できるように自分を見つめていきましょう。

私は、アルバートの道にただひたすら真っ直ぐに進む人達と歩みをともしていきます。真っ黒は分かっています。みんな真っ黒です。私もあなたもみんな、みんな真っ黒です。私達は地獄の

奥底の底の底に沈んできた意識です。それを本当に心から感じて、その自分に少しでも温もりと喜び、安らぎ、本当のことを伝えていこうと決意を固めていただきたいと思います。そして、そんな人達と私は歩みをともにしたいと思っています。

私の勉強がさらに進んでいきます。私は次元移行へ向けて、ただそのことだけを見つめて真っ直ぐに自分の心に響いてくるものを伝えていきます。それを真っ直ぐに喜んで受け止めていただき、ともに歩みを進めていただきたいと思います、私にはその他の思いはありません。そのお勉強がまもなく始まります。

私は嬉しいです。一つ、二つ……、温もりと優しさに出会い、そして、その分だけ自分の心が広がっていく、自分が広がっていく、今、肉を持ってその体験が自分の中でできることが、ただただ幸せです。

自己確立を焦らずたゆまず、しかし、着実な足取りでなさってください。

何があるから嬉しい、何がないから辛い、この人がいるから幸せ、そういうところでウロウロせずに、真っ直ぐに自分の計画通りの道を進んでいきましょう。

その肉体がなくなれば、自分ひとりの世界があるだけです。それはどんな世界ですか。呼べども叫べども返ってくるのは、自分の世界、自分の思いだけです。

自分の世界はどこに通じているのか、何と繋がっているのでしょうか。

肉を持って学ぶ今という時を大切になさってください。  
自分に用意した時間と空間を大切にしていきましょう。

自分を感じていくことが、こんなに幸せを思い起こさせるとはと実感しています。喜びとか幸せ、温もり、安らぎなどを自分の外に求めてきた、全く見当外れの生き方をこれまでの転生で繰り返してきた、それが根本的な間違いだった、なぜそうってしまったのか、そういうふうなことが今の私の中に痛切に感じられる状態です。

だから私は嬉しいです。本当に嬉しいです。何も要らない、何も要らなかった、全部自分の中にあった、自分が自分に目覚めていけば、それが幸せであり、喜びであり、安らぎだったんだ、はっきりとそう告げてくる自分を感じられる今があります。

こんな幸せな時はないです。**過去からの自分を感じて、未来の自分を感じて、そして次元移行。すごい学びです。**

私はもともと犬や猫などには殆ど関心がありませんでした。ましてや一緒に暮らす、家族の一員に犬や猫などがなることなんて全く想像もしていませんでした。それがそういう流れになって、そして、結果、私は犬からたくさんのことを学ばせていただきました。

突然目の前に現れて、突然目の前から消え去っていった、そんな感じです。犬との関わり合いなど無縁と思っていた私には、私

自身の学びについての大きな変わり目に、犬が現れて、犬がその姿を消したと言ってもいいと思っています。

そう思っていくと、とても分かりやすいんです。犬という肉、形を通して、私が私自身にメッセージを伝えにきたんだという感じですか。

もちろん、犬などは人間と違って自然ですから、そこから発する波動、エネルギーは、私の中にすうっと自然に入ってきます。ああ、人間もまた、こうしてすうっとプラスの波動、エネルギーが流れるようになっていけばいいんだ、何かそういうことを、私は12年7カ月の犬とのお付き合いから学ばせていただいたことが、私にとって大きなことだったと感じています。

自分の中に、本当の温もりも優しさも喜びもきちんと存在しているんだ、そして、それが自分なんだとはっきりと分かってくれば、心から出てくるものは、ありがたいの思いしかありません。幸せだと心から思えます。

それを感じ分かるのは瞑想でしかありません。正しい瞑想ができることがもうすでに喜びなんです。

正しい瞑想ができるためには、母の反省、他力の反省を焦らずたゆまず淡々と、そして、真面目にしていく以外に方法はありません。そういうことを飛ばして、ただ瞑想、磁場、反転と言ってみても空しさが残るだけです。そして、結局は、本当の自分を捨て去っていく過去と同じ轍を踏むことになっていきます。間違い続けてきた時間は膨大だから、そこから少しでも本当の方向に自

分を向けていくためには、余程の思い、決意が要ることを再度伝ええます。

U T Aの輪は、形があるわけではないと言いました。そうです、形はありません。形がないということは、仲間が集って、U T Aの輪を盛り上げていくというのではないんです。

自分の心の針を正しい方向に向ける、合わせられる、それは時と場所を選びません。ずっと向ける、ずっと合わせる、そうすれば、自分の中に何かを感じていくんです。ああ、これだなと自分で実感していきます。

U T Aの輪の中に入ってくるというのは、今も言ったように、そこに形があるわけではないから、どんなに人との交流を深めていっても、果たしてそれがそのままU T Aの輪の中に入ってくるということに繋がってくるのかどうなのか、それぞれ自分の心で試して行ってください。

**自分の心の針を違う方向に向けたままでは、形は学んでいる、形はその輪の中に入っているように見えても、実はそうではないことを知ってください。**

厳しいです。しかし簡単です。要は自分の心を見て行って、自分の中を自分で進んでいくことをすれば、自然に輪の中に入っているんです。そういう学び方をして行ってください。

私自身については、学びというか自分の生き方にしっかりとし

た道筋が見えています。つまり、自己確立が成立しています。

従って、自分の身の振り方については、その自分の中の思いに沿っていくでしょう。幸いに、私は、学び以外のことについて、自分の心を煩わせたり、悩ませたりする問題は抱えていません。思いは学び一本に集中できます。

それをいつの時点で実際に行動に移すか、そういう時期的なタイミングはあるけれども、私は私の道をただ真っ直ぐに進むのみという思いには、何も影響はありません。

私は、次元移行という意識の流れを自分の中に確立するために生まれてきました。その確認、確信をさらに重ね、これからの肉の時間を通過していきます。学びは進化しています。いつまでもただ学びにぶら下がっている人達は、やがて自分で自分を見離していく従来のコースを歩いていくでしょう。すべては自己選択、自己責任。他力の中では、絶対に自分を救うことなどできないことを知ってください。

瞑想をしていけば、自分自身がどんなに幸せであったのか、本当にはっきりと分かります。

私の心が自然と反応します。「肩の力を抜いて、そして、流れるままに存在しなさい」。優しさと温もりの中でそう伝えてくれている私自身を感じます。

本当に幸せだと思えます。

瞑想をして心が広がる。瞑想をして温もりと喜びを感じる。これ以上の幸せはないです。



「金と神が幸せにしてくれる、金と神があれば何も怖いものなんかない」。そう言って死んでいった数え切れない私に、反転という愛を流すことができる温もりを感じさせてもらっています。間違い続けてきた私がたくさんあったからこそ、温もりも優しさも無尽蔵に溢れてくることを知りました。だからありがとうしか出てきません。この温もりは決して消え去ったり、弱くなったり、薄くなったりしません。瞑想はそのことを確認できる大切な時間です。

瞑想は楽しいからするんです。瞑想は嬉しいからするんです。瞑想は自分の確固たる思いを確認できるからするんです。

瞑想とは、何も特別なものではありません。瞑想をすることはごく自然なことです。

ただし、肉中心の生活の中では、なかなか瞑想をする時間を確保しません。できません。肉のことを先にしてから、それから時間を見つけて瞑想をする、それではダメなんです。そういう時は身体も疲れているはずです。

体力も気力も十二分にある時なんて、肉体を持っている時間のうちどれだけでしょうか。もちろん、ある程度の生活基盤を作っていく時間も必要です。そういう時間を除けば、本当に自分を集中的に見つめる時間は限られていると思います。

しかも、私達は地獄の奥底の底の底に沈んできた意識です。

そういうことを考え合わせても、今、何をすべきなのか、自ずと答えは導き出されると思います。

私は、私を生んでくれた母と同居しています。日々、母との関わり合いの中で、自分のエネルギーを感じさせてもらいながら、母との生活を嬉しく思っています。

こうして、自分の心が見れる、自分のエネルギーを感じさせてもらえることが、私にはやはりありがたいです。

母親という人は、私に肉をくれただけの人ではなくて、その人を通して、今もこうして私の勉強をさせてもらえるんだから、私には何も言うことはありません。

母も学び、私も学び、私は幸せな環境の中にあります。

学びをする環境は整えられており、私は、その中で、田池留吉の磁場と反転の瞑想を続けています。田池留吉の磁場と反転に心の針を向け合わせていれば、間違いなく自分達は幸せであり喜びなんだと感じられます。

皆さんも、それぞれに学べる幸せな環境の中で、磁場と反転の瞑想をなさっていると思います。

私達は幸せです。本当に幸せです。田池留吉の磁場を思って瞑想ができる、反転と思えるなんて本当に幸せです。あなたはそうは思いませんか。

自分が見える、自分の道が見える、自分のこれからが感じられる、磁場と反転、そして、アルバートの世界、思うことは喜びです。

心の針というのは、時間をかけて合わすのではなくて、瞬間的

なものです。

一瞬にして合う、それでもうすべてが納得。意識の世界では納得。そういう瞬間的なものだと思います。思うということは一瞬、瞬間的なもの。**一瞬にしてエネルギーを発する、それが意識の世界です。**

心の針が瞬間的に合う、そういう学びの実践を重ねていくことが大切なんだと思います。

そういう学びを遂行している人と、まだ肉のことでごちゃごちゃしている人とは、その距離は益々広がっていくでしょう。

それはある面仕方がないことだと思います。

みんなが足並みを揃えて進んでいくことなんてあり得ません。しかし、希望は可能な限り、ともに同じ方向を向いて学んでいくことです。

向きのズレを少しでも修正して、今世を終えていければと思います。

類は友を呼ぶと言いますが、いつもどんな時も心の針の向け先の管理を怠らないでください。自己選択、自己責任です。

しっかりと正しい瞑想ができるようになりましょう。

自己確立に勤しみましょう。

**死ねば自分ひとりの世界です。誰もいません。語ってくるのは自分です。**今、その自分の世界をしっかりと見ることを学んでいます。

もっと現実的に学びをとらえていきましょう。自分の現実と真

向かいになれるこのチャンスを最大限に活用してください。

他力で縛るのはもうやめましょう。真実は自分の中にあることを伝えていただきました。にもかかわらず、その自分を信じられずにいることはどういうことでしょうか。

今世、次元移行という意識の流れを伝えにきてくれた意識の世界は、田池留吉という肉を使って、地獄の奥底の底からはいずり上がってきた私達に、二十年余りの年月をかけて伝え続けてくれました。

そして、今世、そのメッセージは確かに受け取りました。学びの礎はきちんと出来上がっています。

私自身の二十年の学びを振り返り、**やはり今年2012年7月のセミナーは、学びの上で、そして、意識の流れの中で、大きな節目でした。**

**それを受けて、2015年（平成27年）1月以降、どのように学んでいくか、その青写真はできつつあるようです。**

それに向けて私の中もちろん始動するでしょう。

私の基本はもちろん自己確立です。私は前向きに進んでいく人達とともに学んでまいります。

イエス、ノーがはっきりとしている私は、ただひたすら次元移行へ向けて学んでいく姿勢に何ら変わるところはありません。

あとは健康に留意しながら、磁場に心の針を向けていくだけです。

それが田池留吉とともに、アルバートとともに進んでいく道、

250年、300年に続く道、確信の道です。

磁場に心を向け瞑想。磁場と反転のエネルギーを感じる瞑想。

それは、それは遙か、遙か彼方よりこのエネルギーを待ち続けてきた私の中を感じます。ああ、お母さんありがとう。喜びのエネルギーです。ありがとうが返ってきます。

田池留吉からのメッセージ、アルバートからのメッセージを心に受けます。

「私の異語を心に語りなさい。異語と異語を交わすとき、あなたの心の中から喜びのエネルギーが出てくるでしょう。異語は喜びです。喜びであなたの心を語るとき、私達は喜びで一つに溶け合うんです。

遙か彼方より、私はあなたに伝え続けていました。

きっと、きっと出会ってくれる。その意識がある。私はそのように確信しておりました。今世の出会いを待ち続けてきた私の中です。」

次元移行を果たす喜び、その意識の流れを感じます。ようやくここまでこぎつけました。この喜びを心に広げています。心の中に喜びを広げています。

ゼウスよ、ゼウス。心の中に語ってください。ゼウスの喜びを語りなさい。私達の喜びとともに、ゼウスの喜びが語ってきます。

宇宙を支配してきたブラックのエネルギー、ゼウスよ、心の中を語りなさい。

この温もりに帰れるんですね。信じて待ってきました。信じて、信じて待ってきました。待ち続けてきた喜びのエネルギー、今、私達の心の中に届けられます。

**ゼウスの神に心を向けてきた意識達とたくさん、たくさん出会います。**

250年後の肉は、ゼウスに心を向けてきた意識達との出会いがあります。ゼウスに心を向け、転生を繰り返してきた意識達との出会い。その出会いにより、私の心もさらに拡大してまいります。ゼウスに心を向けてきた意識達とともに、次元を超えていくことを約束します。

心の中にゼウスを呼んで、そのゼウスに伝えなさい。喜びのエネルギー、温もりのエネルギー。私達はその喜びのエネルギー、温もりのエネルギーでございます。

反転、反転のエネルギー。心を開き反転のエネルギーをどんどん流してしていく。心より反転と伝えます。反転の喜びのエネルギーを伝えます。

母を思い、そして、ゼロ歳の瞑想から、そして、さらに田池留

吉の磁場に心を向ける瞑想。

それは歴然としています。宇宙です。宇宙とともに次元を超えていく喜び、そして、意識の流れの力強さが心に響いてきます。

磁場すなわち宇宙の意識。宇宙に点在する凄まじいエネルギーが、磁場のエネルギーに呼応していく、私は磁場に向ける瞑想よりそれが心に響いてくるんです。だからただただ嬉しいだけです。

ここに行き着くまで、どれだけの時間を要したことか。そして、これからさらに私は瞑想を続け、自分の心に響いてくる宇宙の意識とともに存在していきます。

私は、今世、肉を持ち学びの機会を得ることができました。本当に幸せです。本当にありがとうございます。磁場のエネルギー、反転と発信するエネルギー、さらに感じてまいります。

磁場に心を向け瞑想をすれば、宇宙達が待っていることを感じます。そう、たくさんの意識達、今世肉を持って出会わずとも、これからの時間をかけて、必ずその意識達は自分の中に作ってきたブラックのエネルギーを反転させていきます。そして、250年後に出会っていくのです。

私は、磁場に向けて瞑想をして、そういうふうなことを感じています。

だから楽しいです。250年後の出会いが待ち遠しいです。

宇宙に点在する意識達とともに進んでいけることがとても嬉しいです。

どんなにこの時を待っていたか。

宇宙に向けて瞑想をしてきてよかったと思っています。今、磁場と反転の瞑想を重ねてそう感じます。ようやく、ようやく、磁場のエネルギーを届けられる、そんな嬉しさが響いてきます。

壮大な意識の流れの計画です。今をありがとう。本当にありがとう。

磁場に向ける瞑想はすごいです。他力信仰の世界のちっぽけさに、早く、早く一日でも早く、自分の中で気付いていってください。

意識の流れを心に感じていますか。

磁場に向ける瞑想を重ね、どんどん意識の流れを心に感じ広げていきましょう。

250年後の出会いは宇宙とともにです。

肉を持つ、肉を持たない、250年後にはそれは殆ど何も関係がありません。もちろん今もそうです。ただ今世はまだ次元移行という意識の流れを聞き知った段階で、それが本当に心に響いてくるまでには、まだまだ時間を要します。これから、それぞれがどれだけ自分を繋いでいけるか、それはひとえに自分次第です。

整然としてある次元移行という意識の流れ。そこにしっかりと照準を合わせた生き方が待ち望まれています。

**人間の欲が作り上げた他力の世界。意識の流れとは全くそぐわないその世界は、それぞれが自分の責任で自分の中から崩壊していかなければなりません。**



なぜ他力の道を極めていったのか、なぜ他力信仰をしてきたのか、他力信仰とはそもそも何なのか、なぜ未だに自分が心酔してきた信仰を自分の中から捨て切れないのか、本当に自分の心の中を見てください。

そして、**他力のエネルギーにがんじがらめの自分を本当に心で知ってください。**

もちろん、これは今世のあなただけを対象に語っていることではありません。私は今世、特別に何もしていないということは、意識の世界では通用しません。

自分の中に、喜びも温もりもパワーもみんなみんなあったのに、それを全く知らずして、自分の外にそれらを求めていった愚かさ、心から気付いてください。それは本当に愚かなことです。

あなたは、本当の自分を捨ててきたということを、心から感じてきましたか。自分を捨てた心、自分を捨てる心、それが他力信仰に自らを走らせたのです。

その根幹にまで自分を掘り下げて感じていってください。それには、言うまでもないことかもしれませんが、今世の時間だけでは不十分です。だから厳しい転生が待っています。

どうぞ、そのことをしっかりと踏まえながら、今世のお勉強を進めていきましょう。

今、肉を持って学べる喜びを感じていけばいくほど、それがどういうことなのかがつぶさに感じられます。待っているんです。あなたの中の苦しみに喘ぐ意識達、さ迷う意識達に、少しでも本当の温もりと喜びを届けられるようになってください。自分を僅かでも正しい方向に繋いでいける今世としてください。

「これからの激動の時間を経て、250年後に必ず出会い、そしてともに行きましょう。今世、肉を持って学びに触れた人達は、本当にセミナーで伝えていただいたことと、真剣に取り組んでください。自分を繋いでいくことに全力を傾けて、その肉の生涯を終えてください。」

**私達は、250年後、宇宙とともに次元を超えていきます。**今私達と肉で出会っている、出会っていないに関わらず、250年後の舞台はすでに整えられています。

宇宙達が待っています。全宇宙とともに次元を超えていく意識の世界のストーリーの礎は今世すでに出来上がっています。

だからこそ、こうして、今世学びに触れた人達に呼びかけています。

どうぞ、**心の中に作ってきた他力の世界の崩壊に全力を傾けてください。**今世学びに出会ったから特別なわけではありません。それはそれぞれの計画の一端です。それを活かしていくのはあなたの選択です。その選択如何によって、意識の流れがどうなるものでもありません。**意識の流れは厳然とあります。粛々と流れています。粛々と計画を遂行しています。**

どうぞ、心を見てください。そして、自分を繋いでいってください。

**頭で納得することと、心で感じ、心で分かることの違いは、当**

然、どのような言葉を使ってもそれは表現できません。

どうぞ、あなたの心で感じて分かっていってくださいとしか言いようがありません。

心で感じ、心で分かってくれば、本当に分かるんです。こうしてホームページに掲載されている内容は、ズバリその通りだと納得するんです。そして、納得するだけでなく、本当の喜びと本当の幸せを感じます。

生まれてきてよかったというのは、次元移行へ向かっていく自分の予定してきた道筋が、きちんと真っ直ぐに自分の心に映し出されて初めて、心の底からそう思えるんです。

次元移行です。意識の流れです。磁場と反転の実践と瞑想の中で、必ずそれらがくっきりとはっきりと心に響いてくる、それが本当の喜びと本当の幸せを感じさせてくれます。

その中で、私は宇宙と呼びかけています。そうすればもう私の中は本当に言葉にならないほどの嬉しさを感じます。

ブラックでも何でもいい、私は嬉しい。本当に嬉しい。ともに帰れることを感じられるから、ただただ嬉しいです。

学ぶということについては、本来は時間の長短に関係ませんが、それは今世という今の段階では少々事情が違うようです。

そうかといって、ただ単に学びに触れた時間が長くても効果的に学んできたかと言えば、必ずしもそうとは言えません。

要するに、いつ、どこで、何をきっかけに、本当に自分を見つけるかによって、学びの進捗度は異なってきます。

まだ学び始めて時間の浅い人であっても、全力を賭していけば、自分の中にすべての回答があり、自分の中の喜びと温もりの自分と出会えることは可能です。

それを可能にするのが、正しい瞑想なんです。正しい瞑想ができ始めて、そして、磁場と反転のエネルギーを心に広げていけば、時間の長短には関係なく、意識の流れを心に感じていきます。

ということで、やはり瞑想を主として学んでいくことがすべてなんです。

おそらく、これからのセミナーも瞑想をする時間をこれまでよりも長く取っていくと思います。

どうぞ、正しい瞑想をする手順をしっかりとわきまえて、セミナーにご参加ください。正しい瞑想ができなければ、また正しい瞑想を重ねていかなければ何も分からないし、何も変わらないとお伝えしておきます。

ゆったりとしながら、しかし、一点を見つめ歩んでいくことに対しては真摯に、それが私の生き方です。

二十年の学びの重みを感じながら、たった二十年、されど二十年を感じながら、これからの二十年に思い向けています。

自分の心が自由に解き放たれる喜び、幸せ、自分の心を自由に解き放つ喜び、幸せ、今の肉を持って学んでいます。

本当の喜び、本当の幸せを、求めて、求めて、探して、探してきたけれど、全部違っていました。

そして、瞑想をする、瞑想ができることが、本当の喜びと本当

の幸せに出会っていけることを知りました。

自分が遮り自分で消してきた世界にこそ、本当の喜びと本当の幸せがあったんです。

**激動、激震のこれからの時間**に突入していくけれど、中は静かで穏やかで、ただ一点に心の針を合わせていただけだという確信があります。

母の反省をし、母を思い、ゼロ歳の自分を思い、そして、磁場を思い瞑想をする、そして、自分が培ってきた他力のエネルギーを心で感じていく、心に感じたブラックのエネルギーに反転のエネルギーを向ける。

一連の作業を淡々と繰り返す。それが人生。

そうなってくれば、肉の人生は自ずとシンプルになってきます。心を見て、心の整理が捗ってくれば、それはそのまま肉の生活にも反映されていきます。

心の向け先が定まらない生き方ほど空しいものはありません。と私は思っています。心がピッと合う、それで私の人生は幸せです。喜びです。

環境は整い、何の不自由もないです。**心の針を向ける、合わせる、これさえできれば、本当に人生万歳です。**

磁場を思い瞑想。

それは喜びだけを伝えてくれます。温もりだけを伝えてくれま

す。

その喜びと温もりにいざなわれて、心の中から突き上がってくるエネルギーを感じます。エネルギーは異語となって出てきます。それが快感です。異語を語ることが喜びです。異語はエネルギー。自分の中の思いを確認しています。

磁場を思い瞑想。

磁場と思えば思うほど、心が広がっていくのが分かります。そして、ありがとうだけが湧き起こってきます。ありがとうの思いがとても温かい。こんな世界がずっとどこまでも広がって続いていくことが幸せであり喜びだと実感します。

磁場を思い瞑想。

肉を持って、肉としての人生を歩むことが私の本意でないことがはっきりと確認できることが幸せです。すうっと肉で遮ることなく磁場のエネルギーを心に感じ、そして、それを流していけることを瞑想を通してやっていく、できる、私の時間はこうして流れていくんだと確認できることがまた幸せであり喜びです。私の本意に素直に流れていく喜びを感じます。

物見遊山で集っておられる方はいないと思いますが、参加されるからには、それなりの準備をきちんとしておきましょう。

いいえ、それもそれぞれの選択です。強制はしません。ただ私はもったいないと思うだけです。

本気になって、素直になって、二泊三日のセミナーに臨めば、どんどんご自分の心に響いてくるセミナーになるのですが、本気

の度合いも、素直さの意味、程度も、まだまだ田池留吉の指し示すところからは、温度差があるように思います。

**学びの要は瞑想です。正しい瞑想です。**正しい瞑想が少しでもできるように、ともに学んでいきましょう。

何度も繰り返します。頭では何も分かりません。心で感じる、心で分かる、そして、心で感じ心で分かってくれば、今という時がどんな時なのかつぶさに分かってきます。真実の波動の世界を心に感じられるあなたになってください。

私は、二十年かけて学んできました。それだけの学ぶ時間を用意してきたことに、今はただただ感謝しかありません。肉、肉で鈍感極まりなかった私にとって、それだけの時間は必要だったのでしょ。

当時、どうすれば、学びが自分の中に違和感なく入ってくるのかと、足繁くセミナーに集ったのはもちろんのこと、セミナーとセミナーの間には、何度も何度もセミナーのテープを聞き直し、ああしなさい、こうしなさいと言われたことは全部やってきたことは間違いありません。

今で言うならば、田池留吉の磁場と反転。

そのテーマでこうしなさい、ああしなさいと提起されることは全部こなししていくというように、当時もそうしていました。

今思えば、私はその当時は必死にセミナーで学ぶことばかりを考えていました。良く言えば、ひたむき、がむしゃら。しかし、それは裏を返せば、周りのことにはあまり斟酌しんしゃくしないということ

でした。けれど、そういう中でも、言うなれば全部自分の思いが通っていった（解雇されることなく、当時月二回あった二泊三日のセミナーにも全部参加、十日前後に及ぶアメリカセミナーにも全部参加）ことに対しては、本当に私の中の思いの強さを感じるばかりです。

「どうしても学びたい。今、学ばんとあかん。今や」。その思いが事を前に進めていってくれたと思っています。学べる環境に身を置き、可能な限り学ばせていただいたことを喜んでいます。

250年後に繋ぐ切符を手に入れた私は、あと淡々と我が道を行きます。ありがたいの思いとともに行きます。未来は軽くて明るいです。

「私の人生は自分のために生きる」、これが私の基本的な生き方です。

その本当の意味が自分に響いてきたのは、言うまでもなく自分を学ぶということを知ったからです。

「誰のために生きるのでもない、自分のために生きる」。それは、決して自分本位な生き方ではないことを心で知っていったとき、ああ、よかった、やっと、やっと、これで自分を裏切ることなくいけると思いました。

自分を裏切り続けてきたけれど、そして、自分を見限ってきた苦しみと哀しみ、寂しさを抱えてきたけれど、それも本当に自分で制止でき、そこから新たなステージで自分を学んでいけることを感じるにつけ、私は250年、300年が待ち遠しいです。



出会いから二十年などかける必要もないし、意識の世界にもっと敏感になっている私は、肉を持たない意識達との通信を今世とは比較できないほど活発にしていきます。

今は、ただひたすら、磁場を思う瞑想です。もうそれしかありません。

ただひたすらに、磁場を思う瞑想ができる状態に今の自分があるのかどうなのか、それを自分の中で精査してください。

残念ながらまだそういう段階でなくて、肉の生活のことでうろうろ、ごちゃごちゃしているのであれば、一日も早くそんな生活から脱却されるべく最大限の努力をなさってください。

磁場を思って瞑想をしていたら、そういうものがすべて解消されていくなんてことは思わないでください。

それでは本末転倒です。他力信仰です。

**瞑想は喜びだけです。何らかの欲の思いがある瞑想は、正しい瞑想ではありません。**

喜びだけで瞑想ができる。だからこそ、瞑想を重ねていけばさらに信が強く深くなっていく喜びへと繋がっていく、さらに瞑想を重ねていく、そういうことでしょう。スタートが違っていれば、あと全部違ってきます。

スタートは喜びです。欲ではありません。

**U T Aの輪は、全宇宙に開かれています。**（第13回U T A会

セミナー資料より) そのほうに心を向けてみました。

私達は、さらなる喜びに向けて、今、心を見つめています。U T Aの輪により、私達は250年後に思いを向け、この心の中を見つめています。

私達には肉がありません。肉という形はありません。

しかし、U T Aの輪という波動の世界を心に感じるができます。

私達は、すべてにおいて間違ってきました。私達が心を向けていく先は、U T Aの輪が示すように、あの温もりの世界だったんです。

すべての意識達が目指していくものは、250年後に発信されるU T Aの輪の波動です。

その波動を心に感じ、私達の仲間が次から次へと目覚めてまいります。

私達は今、肉を持たず存在しています。肉のない私達にU T Aの輪という波動の世界を伝えてくださることが嬉しいです。全宇宙に向けてU T Aの輪から発信される波動の世界、エネルギーを心に感じ、私達は必ず、必ず、この世界を求めてきたことを思い出してまいります。

心の中を見つめていくことが喜びだと伝えてくれました。

田池留吉の磁場より発信されるエネルギーにより、私達は必ず、必ず四次元へ移行してまいります。ありがとうございました。

すでに田池留吉氏も語っています。U T Aの輪作りにこれからのセミナーを通し、また学びを通し、私はそこへ思いを向けてまいります。

それは、今世、学びに集っている方達だけというわけではありません。

U T Aの輪に思いを向けたとき、肉を持たない意識達、その意識達とともに、ともにという思いが大きく、大きく心の中に広がっていきます。

肉を持たない意識達に、すべての意識達に、全宇宙にしっかりと発信するU T Aの輪作りに思いを向けていきたいと思います。

私達の心の中には宇宙が存在していると、私は以前より伝えさせていただきました。

どうぞ、心を見つめてください。あなたは、今のあなたお一人ではありません。そして、あなたはこの三次元での転生のあなただけを抱えているではありません。

あなたの心の中には、この三次元以前のあなたが、たくさん、たくさんあるんです。そのすべての意識達に伝えていけるような、そんな学び方をなさってください。

正しい瞑想をして、どうぞ、私達とともにこれから歩いてまいります。

私は、そのU T Aの輪作りにこれから思いを向けてまいります。

田池留吉、アルバートとともに、私達が次元を超えていくその先にある喜びの世界、温もりの世界へどんどん思いを向けてまいります。

私は今の学びをもっと、もっと、もっと、もっと自分の心で感

じていける人が一人でも、二人でも増え、そして、その人達とともにこの学びを進めていきたい、そのような思いでいます。

どうぞ、まずは自分の心の中にある他力信仰に使ってきた思い、その思いを反転のエネルギーの中で見つめていってください。田池留吉の磁場、反転のエネルギーを、どうぞ、どうぞ、しっかりと信じる方向にあなたの心を見つめていってください。心から私は待っています。

はい、250年、300年の時間を私達は喜びで、喜びで存在していただけることをお伝えしたいと思います。

U T Aの輪作りに私はこの肉の人生を傾けてまいります。

一人が本当に田池留吉の磁場を思い瞑想をして、心に響いてくる意識達に温もりと喜び、そして、意識の流れを伝えていく、田池留吉の磁場のエネルギーをただ流していく、それは本当にすごいことなんです。

それが、一人が二人になり、そして、二人が三人になっていけば、もっとすごいです。それがU T Aの輪です。

一人、二人と肉的な表現をしましたが、それは、数の問題ではありません。発信するエネルギーがそうになっていけばという意味です。エネルギーの強さ、深さ、温もり、喜びの度合いです。

その輪作りに、田池留吉氏が命を懸けると私の心に伝わってきているので、私は本当に嬉しいです。

この学びは宗教ではないんだから、人集め、金集めの必要なんてないんです。人を集めても、金を集めても、真実は見えてこない。

必要なのは、それぞれが心の針を本当に向け合わせられるか、本当に磁場と反転のエネルギーを感じているか、自分の中にそのエネルギーを伝えているか、伝えられる自分であるか、そういうことがみんなクリアできていると自分に答えを出せるようになることです。

私は自分を学ぶために生まれてきましたし、次元移行を心で知るために生まれてきました。その自分で決めてきた予定のコースを履行することが、自分に対する誠意、自分に対する責任だと知っています。そして、それが大きなパワーとなって働いていくことも私は感じています。

だから、私は私の人生、幸せなんです。自分の思い通りの人生です。この道を真っ直ぐに、もうその答えは私の中で出ています。

自分の間違いに気付いていくのは自分にしかできません。

どんなに適切なアドバイスを人からいただこうとも、自分が自分の辿ってきた思いの世界を見て、自分の流してきたエネルギーを感じて、そして、自分の心で気付き、自分で自分を修正していく喜びと温もりのエネルギーと出会うコースを一步、さらに一步と進めていかなければ、自分の根本など変革することはできません。

その手立てを私達は、今世の自分を通して学んできたんです。

あと、それをどのように活かしていくのかは、それぞれの問題です。

他力の世界の中から、この学びを眺め、学んでいこうとするこ

と自体、もうすでに大きく道が外れているんです。けれども、そういうことは、自分で気付いていく以外にどうしようもありません。私は学んでいますと言われれば、それはそうかもしれません。

ただ、**スタートが間違っていれば、あとは全部間違っています。**だから、学びに集った動機の修正を第一にするべきことではないでしょうか。それがなければ、喜びを感じた、嬉しさを感じた、幸せを感じたといっても、それはちょっと待ってくださいとなってくるでしょう。

すべては自分次第です。その自分とは何かを学んでいく喜びと幸せ、学びはこれに尽きると私は感じています。

**磁場を思う瞑想。瞑想です。針を向ける、合わせることです。**この成果を持って、これから250年、300年を通過していく、私はそういうことを学ばせていただきました。

UTAブックのホームページにもありましたが、皆さんも試してみてください。

紙に、磁場とか反転とかこの学びで使っている言葉を書いて、それをOリングで確かめる。あるいはその書いた紙の上に水道水を入れたコップを置き、もう一つ、白紙の紙の上に水道水を入れたコップを置いて、そのお水の飲み比べをしてみる。

Oリングで確かめる場合は、自分ともう一人必要ですが、お水の飲み比べは一人でもできます。

そのような試みを通して、ご自分の学びの進捗度を確認してください。

自分の学びです。自分でやって自分で確認する、その姿勢が一番大切です。

学びは結果が出るんです。上記のような簡単な実験もそうですが、生活全般において、結果が出ます。形で言えば、ぶつぶつ、ごちゃごちゃしている人はダメです。それをセミナーに集うことで解消させようとしても無駄なことです。

自分の心の針の向け先の確認。母の反省、他力の反省、ゼロ歳の瞑想。そして、磁場の瞑想。どうぞ、自分の変革に素直に取り組んでください。

この学びはいつでも、どこでも、誰にでもできる、それはこの学びが真実の世界を伝えているからです。

何も要らない。ただ自分の心を見ることをしていけば、いつでも、どこでも、誰にでも分かることです。

その自分の心の見方を二十数年かけて学んできたんです。

その基本をしっかりと押さえて行って、そして、そのあとはそれぞれの問題です。

やるかやらないかはそれぞれです。学びのポイントをしっかりと押さえて、それぞれが試行錯誤を重ね、そして、ああ、こうだったんだと自分の中で本当に分かってくればいいだけの話です。

ただし、この世界については、二兎を追っているようでは、それは全く違う世界だというのが鉄則です。この点がただ一つ難しいと言えれば難しいということでしょう。

第13回UTA会セミナーの二日目、田池留吉、アルバートからのメッセージ、そして三日目、Oさんに向けて発したメッセージ、どうぞ、しっかりと心に受け止めてこれからの学びにご活用ください。

意識の流れは、次元移行を目指し粛々と、そして、喜びで、私達に気づきを促していきます。

そのお勉強を、今世の時間の中で、もう少し濃縮してきちんと学び終えたいという私の思いがあります。

それはやはり宇宙です。宇宙に向けて瞑想をする、瞑想ができる喜び、それを私は一人でも多くの方と分かち合いたいという思いがあるんです。

私自身、これからの二年間さらに瞑想を重ね、九合目の道を着実に進んでいきます。その成果を持って、私は自分の予定のコースを喜んで進んでいきます。

どうぞ、UTAの輪の中に、どんどん入ってきてください。入ってこれるような学び方をなさってください。

それには、基本をしっかりとこなしていくことです。

ともに学んでまいりましょう。意識の流れに素直に乗ってみてください。

セミナー期間中、私は初めて体調を壊しました。食事のままならないのは初めてでした。突然の嘔吐に戸惑いながらも、しかし、セミナーの時間は何事もなく過ごせたことが不思議としか言いよ



うがありません。

身体もようやく本調子に戻ってやはり思うことは、元気で学べることが何よりも幸せなことだということです。

田池留吉の磁場を思い、私は私の肉体細胞を思いながら、思うことの大切さと喜びを心に感じながら、復調させていただきました。そして、今回の体験により、磁場のエネルギー、反転のエネルギー、やはりすごいと確認しました。心に向ける、思う、それは本当にすごいパワーなんだと自分の体験を通して感じさせていただいたことがよかったです。

自分の体験から、また一つ私の中で、信を強めていったと思いました。

体調不良になってよかったです。

第13回UTA会セミナーの現象のときに、宇宙が大好きだという方が出られました。私も宇宙が大好きです。宇宙と思えば本当に嬉しいです。宇宙に向けて瞑想をすることがとても、とても嬉しいです。

私達は、狂った闇黒の宇宙を数限りなく作ってきたけれど、ようやくそのたくさんの宇宙達とともに、次元を超えていける、そして、さらに母なる宇宙の温もりの中に、喜びの中に帰っていける、それが心で感じられる、そういう瞑想を続け、重ねていける喜びを知りました。

**私達は、肉を持つ以前よりももちろん、田池留吉、アルバートの意識を知っていました。その意識とともにあったんです。**

そして、この地球に肉という形を持ってからも、田池留吉、アルバートの意識からのメッセージを心は受け続けてきました。

しかし、私達は自分を捨てたんです。自分の温もり、喜び、それらを捨て去り、我一番の宇宙を築き上げてきました。

正しくメッセージを受け取ることができませんでした。

だから、私達は狂いに狂い、苦しみあえいできました。温もりと喜びを捨て、我一番のパワーを強め高めていくことが最高の喜びとなりました。

私は、そういうことも、ああいうことも、すべては、今世肉を持って学ばせていただき、ようやくその間違いに心から気付いたんです。

だから、**今世を境にして宇宙は変わります**。大きく転回していきます。私はそれがただただ嬉しい。その嬉しさと喜びで私は今世の学びをもっと濃縮させていきたいんです。それは田池留吉が肉を持っている如何に関わらず、永遠の過去からずっと通信していた田池留吉、アルバートの意識の世界とともに学ぶ喜びです。心をさらに向けてまいります。

**宇宙に向けての瞑想は、やり方を間違えれば凄まじいエネルギーの中に飲み込まれていくだけです**。そして、飲み込まれていくというけれど、それは全部自分のエネルギーです。自分です。自分のエネルギーで自分をどうすることもできない、間違った瞑想は、やればやるだけ苦しみ膨れあがってきます。

もちろん、それは今の肉を通して、周りにトラブルを起こして

いきます。そういう人達は、そのエネルギーを薬などで抑制するか、それともエネルギーのまま肉を動かし周り大きな軋轢あつれきを起こすか、どちらにしても、愉快的人生ではありません。

一方、きちんとした瞑想をすれば、宇宙と思い、どんなに凄まじいエネルギーを心が感じ取っても、そこからそれはただただ嬉しい、ありがとう、ともに、そんな思いが広がっていくんです。やればやるだけ喜びが湧いて出てきます。

**まさに温もりとともに、温もりに包まれて、本当に今あることの喜びを心から感じられる、そんな瞑想が宇宙に向けての瞑想です。**

基本を一つ、一つ積み上げ、素直に真面目に学びに取り組めば、誰でもが本当の喜びと温もりが分かる、感じられます。

**基本を一つ、一つ積み上げる、素直に基本を遂行していく、これが意識の流れという流れに乗る一番の近道です。**

流れに乗り換えることが難しいだけで、乗ってしまえばあとはすうっと行きます。すうっと行きながら、自分を感じていく喜び、嬉しさが広がっていきます。

そうなってくれば、特段のものは何も必要とはしません。全部すでに整えられていることが分かります。生活はもちろん整っています。その中で、自分を感じていける今があること、過去の自分も未来の自分も今の自分と一つになって生きていける確かな足取りを感じ、さらに意識の流れを感じずにはいられないんです。すべてが良い循環になってきます。その大きなポイントが心の針

の向け先です。

基本ができていない人に、心の針の向け先は分かりません。だから本を読んでもホームページを見てもメッセージを聞いても、今ひとつ心に響いてこない、瞑想は退屈というのが実情です。

もちろん、そうでない人もいます。その差はこれから益々大きくなっていきます。学びは最終段階です。表現は適切でないかもしれませんが、ふるいにかけていきます。

**瞑想をする時間を持つ。最も重要なことです。そして、これ以外にはありません。**

瞑想を重ねていけばいくほどに、このことがよくよく心で分かります。

瞑想ができなければ、何も分からないこともよくよく分かります。

磁場を思う瞑想は、必然的に宇宙を思う瞑想となってきます。磁場と思って瞑想をすれば、宇宙が必ず心に響いてきます。宇宙とは次元を超えた意識の世界です。

磁場のほうに心に向けていくと、そんな広大な心の世界が必然的に感じられてくるんです。

自分の中を反転させていく喜びが大きく感じられます。

ゆったりとした時間と空間の中で、ただ思えることがどんなに幸せなのか、私は宇宙を思うとき、それが心に響いてきます。

何も要らない。磁場のエネルギーを感じ、宇宙を思っていけば、こんなに温もりが広がってくる、こんなに嬉しい。肉を持つ

て、こんな喜びの時間の中にあることが、ただただ嬉しいです。

今朝も気持ちの良い朝です。身体の筋をきちんと伸ばし、生活の中に適度な運動を取り入れて、身も心も軽やかな時間を過ごしていきましょう。

**学びの最終段階**というのは、どれだけ信を高め強め深めていくか、そういう段階に来ているということです。

信じていない、信じられないものを、どのようにして信じていけるようにしていけるか、それはもうずっと以前の学びの段階です。

**あなたは自分を信じられますか。あなたは磁場のエネルギーを感じていますか。どの程度感じていますか。あなたの中で反転のエネルギーは、生き生きと作業をしているのでしょうか。**

意識の流れを思って、その流れの中を歩んでいる自分だと感じていますか。あなたの次の転生に繋いでいく準備は、順調に進んでいますか。

いつも、いつも自分に問いかけ、自分の進捗度をありのままに自己評価して、これからの自分を真摯に見つめていく姿勢であり続けることが、自分を大切にしていくことです。自分のために生きることです。

このようなメッセージを私は私の中にいつも聞いています。

自己評価して、絶対評価の中で、私は私を見つめ、私は私と対話しながら、今の今を生きています。もちろん、自分を先導する自分を感じながら。だから、私は幸せです。

学びに対する信。それはとりもなおさず自分に対する信です。自分の現状をしっかりと把握して、自分の根本を変革していくことにエネルギーを注ぎましょう。

はっきりとした目的意識のもとに、日々の生活を楽しく過ごしていくならば、こんなに愉快的時はありません。

何のために生まれてきたのかが自分の心に本当に響いてくれば、自ずとそれに沿った生活になってきます。

肉体を持っている間にすべきことが、はっきりとしてくるからです。

それがこれからの自分に大きな影響を与えていくと言っても、決して言い過ぎでないことも分かってきます。

ともに行くのか、それとももくずとなるのか、意識の世界はそんなに甘くはありません。そういうことを本当に心で知り感じながら、今を学び、今の生活もまた楽しく過ごしていきましょう。

今、盛んに実験が行われていることをここで紹介します。

草書体で書かれた「愛」が皆さん、手元にあると思います。

二人一組で実験です。

まず白紙の紙に何か文字を書きます。自分の名前でも、反転、磁場等々何でもいいです。

それをまずOリングパワーテストをします。

そして、もう一人の人が草書体でかかれた「愛」を手でなぞって、

その手で何か文字を書いた紙をなぞります。そして、再び、0リングパワーテストをします。

両者の違いを体感してください。

私は母と実験をしました。母は「何やこれ、草書体で書かれた『愛』ってすごいなあ」という感想でした。

草書体で書かれた「愛」の紙の大きさには関係がありません。大きいからパワーも大きいなんていうことは全くありません。

あと、草書体で書かれた「愛」の活用方法はそれぞれに工夫してください。

流れるエネルギーを体感してください。

しかし、一番肝心なことは、そこに留まるべからずということです。

草書体で書かれた「愛」から流れるエネルギー、パワーは自分の中にある、自分の心から流せるエネルギーであり、パワーだと本当に心から実感できるような学び方に、そういうものを活用なさってください。

漫然と学んできた人達も、遅かれ早かれ、もう少し真剣に自分を見つめていかなければならない事態になってきます。

それは、今世であるかもしれません。次のそのまた次の転生であるかもしれません。

自分の心で気付き、自分から本当に、自分に真実を伝えていこうという流れが自分の中にできてこなければ、何も変わりはない。何も変わらないんです。

私達は、過去何億年という長い時間を経て、それを体験してきました。それは、それぞれみんな自分が一番よく知っています。

しかし、それらの体験と今、私達が触れている体験とは全く違います。ただ、それもどこまで心で分かっているのかは甚だ疑問だというのが現状です。それほどに心の針の向け先を確定することは難しいんです。

たとえば、草書体の「愛」、少し学びをかじっている人であるならば、それを手にすれば、不思議な体験をします。ただ、それってどういうことでしょうか。では、それがなければどうなるのでしょうか。もともと私達には何もありません。ただ思う自分があるだけです。その思いの向け先が確定できなければ、どうなるのでしょうか。

私は、そういうところを、それぞれがもっと踏み込んでいくべきだと思うのですが、あなたはどう思いますか。

昔、昔、太古の昔から、神を求め、神を仰ぎ、神の声を聞いていた。そんな過去世が私の心の中にはある。私は、田池留吉のメッセージを求めてきたはず。しかし、私の過去はすべてそのメッセージを正しく受信することができなかった。

たとえば、私の過去世、巫女。当時、私は大きな権勢を誇ってきました。巫女として大きな権勢を誇ってきた。心の中に響く神の声を私は聞いてきた。その声で私は民を操り、己の欲望を膨らませ、権勢を欲しいままにしてきた。大きな権勢を敷いてきました。

そんな過去世です。私は確かにこの心を神に向け、神の声を聞いて



てきた。

私の口から発する言葉を私は神の声として、世の中の人達に広めた。たくさんの過去、そんな経験がある。そんな体験を持って、私はこの肉体を終えていった。私の過去は凄まじいものでした。

今で言うチャネラー、霊能者。私はまさしくそのチャネラーでした。たくさんの神を求めてきた。神の声を聞いてきた。しかし、私が聞いてきた神とは一体何なのか。

田池留吉は、今世、私の肉体を通し語ってきます。

私の言葉を受けなさい。私の波動を受けなさい。波動を受けて言葉に変換していくんです。

心の中に広がる思いはどんな思いですか。田池留吉に心に向けた時に広がる思いをしっかりと感じ、そこからあなたが過去に広げてきた過ちを見つめていくんです。心が受けたメッセージは言葉としては同じかもしれませんが。しかし、そこに流れるエネルギーを、全くあなたは間違っ受け取りました。

たくさんの者達をその支配下に置き、我と我の一族をただただ繁栄させるために、神に心を買った。凄まじいエネルギーの中で、欲望の渦が渦巻いている中で、私は己を表し、権勢を欲しいままにしました。たくさんのものを手に入れた。

何度転生をしても私は心に神を求めてきた。仏を求めてきた。宇宙のパワーを求めてきた。

しかし、私の中にずっと初めから、もともとメッセージが来ていたのだ。

母の温もりとして、私の中にあった。本当の私からのメッセージ。心を見なさいというメッセージ。あなたは、今、あなたが思っているあなたではない。はっきりと伝えてくれたのに、私はこの心からすぐさま打ち消し、否定し、それを心の奥底に沈めた。

今、田池留吉が語る。

私は、ずっとずっと、ずっと、ずっと、遙かずっと昔から、メッセージを送っていたんですよと。

ああ、だから、私は、今世の出会いをどれだけ待ち望んできたか、心に染み渡っていきます。そうでした。それは、私が求めてきた本当の私からのメッセージでした。

こんな過去の体験を多く持ち、そして、それを心はしっかりと握ってきたからこそ、今世の出会いと学びがありました。

私の基本は、「この世の中のどこかに真実は必ずある」でした。

この思いを胸に、私はひたすらに田池留吉に向かっていきました。

途中、その行く手を妨げると感じれば、即座にそれを切りました。私にはどうしても、今世やらなければならないことがあったからです。

人の心の中を操り、牛耳っていく恐ろしさ、愚かさを私はいやというほど、体験済みです。言葉ひとつでどうにでもなるのが神、仏、宇宙のパワーの世界でした。そしてまた、念じる恐ろしさ、念を入れる愚かさ、これらもまたすべて我が身、我が心で体験済みです。

肉からの脱却、このハードルを自分が飛び越せなくては、私の中は何も変わらないことを、今世の学びで知りました。

今世の学びは私を変えました。真実のものが肉を通して入ってくる幸せを感じながら、だからこそ、よりいっそう自分の思いが心に響いてくるのでした。

「私には今世しかありません。絶対に今世は外せない」。一人の人間としての幸せよりも、真実を追求してきた、たくさんの私の思いを実現させることが私の喜び、幸せとなることは間違いのないことでした。

この思いは、250年後の来世の私にも、もちろん共通する思いです。

過去、三次元以前の私の思いが今世の私と来世の私に集約されています。

今、私が心に受けている、田池留吉、アルバートのメッセージは、そうです、その通りです、初めから私の中に送信されていました。

ただ、私が受信できなただけなんです。あるいは受信していても、己の保身のために、それを体よく歪めて利用してきました。そこのところを私自身がもっと明らかにするべきだと感じています。

そうすることにより、今、私達が田池留吉、アルバートの意識の世界を学ばせていただいていることが、どんなにすごいことなのか、また心で感じ始める人達も出てこられるのではないかと思います。

しかし、私にはそんなことは大したことではないんです。

私は、私が瞑想をすることにより、自分の中をさらに見つめ感

じていく、意識の世界のすごさを心に感じていく、そんな時間を、今世の肉を持っている間、持たない間、そして、250年後に出会ってからと、ずっと持っていければいいと思うだけです。

それが、意識の流れが順調に遂行されていくことに繋がっていくことを感じています。

過去の間違いに心で気付けるのは、今、自分の中に本物はこれだと分かるからです。本来の磁場のエネルギーを心が受け、そこから私はまた自分の作ってきたエネルギーの質の変換をやっていきます。

いつの世もエネルギー満載でした。そのエネルギーを正しく受信できる器ではなかったことを、つくづく感じています。

今の私の肉を通して、本来の磁場のエネルギーを心に受けています。そして、その中で自分の意識の世界を反転させる喜びを広げています。

磁場と反転のエネルギーをようやく、自分の中で否定することなく、拒否することなく、これだ、これだと心に向けられるようになったのが今世でした。

どんなに長い時を経てきたのか。しかし、それもまた全部自分が選んできたことでした。

心の針の向け先、合わせ方、私はそれを今世学ばせていただきました。

それを阻止するエネルギー、妨げるエネルギーに立ち向かっていくのではなく、包み込む術を田池留吉という肉を通して、田池

留吉、アルバートの意識の世界から学ばせていただきました。

大きな収穫です。本当に大きな収穫でした。

心の針をきちんと向け、きちんと合わすことにより、どんなに凄まじいエネルギーも自分の中で温もりに帰することができる確信は、本当に大きな収穫でした。

私は、今でも私はチャネラーではないという思いが心から上がってきます。

その訳が分かりました。それは、過去の過ちを自分の中で戒めた思いでした。過去と同じ轍を踏まない、私は私の中で自分に固く約束してきたことでした。

それを現実のものとするには、どうしても意識の転回という作業が必要でした。だから私は今世、生まれてきて学びの門を叩きました。

それから今日まで、何が何だか訳が分からずながら、試行錯誤しながら、自分の固く閉ざした殻を突き破ることに私は専念してきました。

夫の死、父の死、二度の現象で私の方向は定まり、そして、それを後押しするかのようになんて今年になって愛犬の死を体験しました。

その間、田池留吉氏には微に入り細に入り、懇切丁寧に本当のことを伝えていただきました。

ようやく、自分の歩みを計画通りに軌道に乗せた今、私はただゆったりと、ゆっくりと、マイペースでその歩みを進めていけることを喜んでいます。

ありがとうございます。母に健康な身体と心をいただきました。心の中に培ってきた闇のエネルギーにもへこたれない身体と心を自分に用意し、真実のこの道を真っ直ぐに突き進む喜びのエネルギーを感じられることに感謝です。このエネルギーを喜んで広げていきます。

自分に本当のことが伝えられなかったら、生まれてきた意味も甲斐もありませんでした。本当のことを伝える、自分に。それが本当の優しさでした。本当の喜びでした。今、瞑想をするたびに心に響いてきます。

自分を幸せに導くのは自分にしかできないことが心で分かってくれば、本当に何も要らないです。

必要なものはすべてありました。心です。無数の私です。その無数の私が伝えてくれます。優しさ、温もり、喜びを限りなく伝えてくれます。

嬉しい。こんな環境の中で自分を感じられることが嬉しいです。こんな素晴らしい肉の時間を用意してきた自分でした。

自分に用意した時間を堪能する喜び、幸せが心に響いてきます。本当にあったんだ、幸せや喜びを感じていくのに、何も要らないということが。

二十年前の私には全く考えられないことだけれど、確かに今、自分の心の中でそう感じているのだから間違いのないことです。

私が私に証明できた今世でした。この成果を私のこれからに繋げていけることを喜んでいきます。生まれてきてよかった、生んで

くれてありがとう、初めて、初めてそう自分に言える今世です。

### 磁場の瞑想より

思うと心が広がり、温もりと喜びが広がっていく。そんな世界を感じられることがすでに幸せでした。

思えばよかった。思えばありがとうが響いてきて、何とも言えない嬉しさと懐かしさ、温もりが伝わってきます。

言葉では本当のことは伝えることはできません。言葉の発するエネルギーを正しく受信する能力がその人になれば、どんなに言葉を重ねても、それは、ずれて曲がって歪んで伝わっていきます。

姿も形も何もない、しかし、厳然としてある世界があります。本当に心を向けていけば、心に響き伝わってくる世界があります。温もりでした。ありがとうの優しさと力強い思い、そして、凜とした厳しさでした。

そして、それを感じていくのは、ただただ心の針を向けられるか、合わせられるか、それだけでした。

「その人、田池留吉」のⅢとして、もうすぐ磁場と反転の本が出版されます。

「その人、田池留吉」、「その人、田池留吉Ⅱ」ともども愛読してください。

通して読んでいただいて、どうぞ、意識の流れからのメッセージを心で感じていただければと思います。

一人でも多くの方がご自分の心の針を同じ方向に向けて、さらに意識の世界のバージョンアップに繋げていただきたいと思います。

どこかに記したと思いますが、磁場の瞑想を重ねていけば、必然的に宇宙が心に浮かび上がってきます。

母なる宇宙とともに、その思いが必然的にどなたの心の中にもクローズアップされてくるのです。

それには、まず基本をしっかりと、というのが鉄則です。

とにかく、やってみてください。すごい世界です。

磁場の瞑想、宇宙に向ける瞑想、心でどんどん感じて、その感じた世界をともに喜んでいきましょう。

私は、宇宙が大好きです。宇宙を汚しに汚しまくってきたけれど、たまらなく懐かしい宇宙へ思いを馳せる自分に変わらせていただいたことが嬉しいです。

**宇宙とともに、これを合言葉に250年に至る時間、それぞれがきちんと学びを進めていけたなら**と思います。

私は、最近になって**A I R草紙**というものを使って、以前に出版させていただいたものの一部を読み直しました。

本を棚から取って読むということが煩わしいので、ふと気が向いて、このA I R草紙を活用させていただいています。

私が、今読み直しているのは、「あなた、このまま死んでいいのでしょうか」という本です。

本文中に、田池留吉という人との出会いから十六年経た今とあ



ったので、三年ほど前に書かせていただいたものです。

チラチラと読み直しているだけですが、改めて思うことは、手前味噌でなんですが、よくできています。分かりやすいです。

ダウンロードが無料ですので、どうぞ、よろしかったら、斜め読みでいいですから、目を通してみてください。

そして、そこで少し目を閉じる時間を持ってみてはどうでしょうか。

いつの時代にも心が敏感な人は存在してきました。いいえ、ただ敏感だけではなくて、自分の心に受けたエネルギーを言葉に変換して、そう神からの言葉として自らが預かる者だと知らしめてきた人は、いつの時代にも存在してきました。

自分の心に受けるまでは、そのエネルギーは確かに真実を伝えていたのでしょう。ただ、それを受信してしまえば、その時点でエネルギーの質は全く違ったものとなっていました。

自分の本質を知らないままであれば、エネルギーの質の変化になど気付くはずはありません。ただ自分の肉体を通して神が語ることはすごいことなんだ、それは神と一体化していることなんだと信じて疑わなかっただけのことでした。我は神なりと自分の中から出てくることは素晴らしいことなんだと思い込んできたようです。

そんな神などどこにも存在していないのに、存在すると信じ切ってきたのです。

本来あるべきエネルギーの質をどんどん間違った方向に変換し、

それを流し続けてきたと心で気付くことは容易なことではありませんでした。そしてまた、自分を捨てた、自分の本質を見失ったと、はっきりと心で感じてこない限り、自らの過ちを正すことはできませんでした。

過去と同じ轍を踏まないと今世肉を持って出てきたことを、自らの一大決心と受け止めてきました。自分の本質を見失ったと心で気付く、それを学びたいがために、私は生まれてきました。

生活の基本は早寝早起きです。夜遅くに瞑想をするよりも、朝早くに瞑想をすることです。夜11時を過ぎて瞑想、反省はいただけません。

あなたの肉体細胞に聞けばいいんです。何を食べるか、何を飲むか、いつ食べるのか、肉体細胞のリズムに沿った生活をしていきましょう。

基本は非常に大切です。生活の面から書きましたが、基本が大切というのは、言うまでもなく学びについてです。

学びの基本は母の温もりです。母の反省を通して自分の中に本当に母の温もりを蘇らせること、それがまず基本中の基本です。

温もりが自分、喜びが自分だと確立していく中で、本当の意味で自分を受け入れていくことができます。

どんなに凄まじい自分のエネルギーを感じても、絶対に自分を見失うことがなく、一瞬のうちに心が広がっていく、自分を自分で包み吸収していく喜びを味わい、自分の中に本当の喜びと温もりがあると確信していく喜びと幸せ、これを知った人生が本当の

人生だと私は感じています。

元気に明るく自分のエネルギーを日々感じていける、こんな幸せはないでしょう。

私は学びを知ってから、かねがね思い感じ実感してきたことは、肉から意識への転回をスムーズに捗らせるためには、死という現象が最も効果的に働くというものでした。

死は、やはり肉を持つ私達にとって、超えて受け止めていく最大の現象だと私は思っています。

自分の死はもとより、生活をともにしてきた家族の死、その現象によってどんな心が自分の中に見えてくるか、そこから自分の学びがまた始まっていきます。

自分達を悩ませ苦しませ、自分達に迷惑だけがかかってきた家族ならば、死んでくれて、ある面やれやれということがあるかもしれませんが、そうではない場合、それぞれが自分の中の思いとしっかりと向き合っていく難しさがあります。特にこれからの転生の中では、心が引き裂かれるような辛い肉との別れという現象がそれぞれに用意されているでしょう。過去、すべてが失敗に終わったけれど、それを今度こそ、自らの気付きへ、そして、喜びへ転回していけるチャンスを用意しています。

肉から意識への転回が捗っていますか。喜びと温もりの中で自分を見つめていける喜びを味わっていますか。

本当に今世の学びの時間、大切にしていましましょう。自分の心を繋いでいけるような今世にしていってください。

草書体の愛と紙に自筆した愛を使った実験を試してみましたか。  
私は今日母とやろうと思います。

実験の結果、どれも同じ程度のOリングであるならば、それでOKということです。

当面の目標は、自筆の愛とそれを反転した愛、これに、草書体と同程度の力が感じられるようになるということでしょうか。

要は、何もなくても、自分の心の針の向け先の管理ができており、それがどういうことなのか、自分の心でどんどん感じていくようになっていかなければ、実験はただの実験の域を超えないと私は思います。

分かりやすい実験を経て、本当に学びの真髄に触れていきましよう。

こんな分かりやすいお勉強の機会はおそらく今世だけでしょう。これからの激動の時間をどのように自分の中は受けていくのか、真摯に自分と真向かいになっていけるような状態にしていましよう。その気概というか、真剣さというか、そういうものがストレートに求められていくこれからの時間ではないでしょうか。

何事においても言えることです。そして、この学びについても例外ではありません。それはポイントを押さえることです。枝葉のことなどどうでもいいんです。

ポイントを外さず、ポイントをしっかりと押さえた学び方をし

てください。

それには、まずポイントが何かということが分かっていなければなりません。この場合の分かるというのは頭です。

まずそこからしていかないと、あっちを向いて、こっちを向いてをしているうちにどこかへ行ってしまう。また、あっちから、こっちから、色々な情報を仕入れてきても、結局は何も分からない、何も変わっていない、そういうことになりかねません。

ポイントは基本と言い換えてもいいでしょう。

一体、この学びでは何を言おうとしているのか、どうしてくださいますかとあなたに問いかけているのか、それぞれが一度自分の中で整理してみてください。

たくさんことは言っていないはず。いいえ、一言に集約されているはず。それを色々な面から説明しているだけです。たとえどんな説明がなされても、そこで伝えていることは一つです。

その一つを、どうぞ、ご自分の中で実践してください。実践です。実体験です。自分の心で体験するんです。話はいくら聞いても話です。それを自分の中で実践を通して結果をどんどん出してください。

出した結果を見て、またそこから学びが始まっていきます。話の段階、見る、聞くだけの段階で留まっていないようにしてください。

第13回UTA会セミナーでお話があったように、すでに「意

識の転回」、「宇宙の風」を読み直していただいているかと思います。

第14回UTA会セミナーに参加される方は、特にこのことを励行してください。

さらにこれから出版される予定の「磁場と反転」も、どうぞ、あなたの心で読んでくださるよう希望します。そうして、セミナーにご参加ください。

もちろん、このことと同時進行で、草書体で書かれた「愛」をどんどん活用してください。そうすれば、本の内容がもっと分かります。そうなることが、ご自分の学びをアップさせることに繋がっていきます。

本を**読む**、草書体で書かれた「愛」を**見る**、そして、**瞑想**をする、まあやってみてください。

そこで、これだけは押さえてください。

**草書体で書かれた「愛」は、あなたの外にあるものではありません。そこから流れる波動、エネルギーは、あなたの外から来るのではなく、あなたの中にすでにあるんです。あなた自身がそうなんです。**

どうでしょうか。今、信じていますか。これから信じられるでしょうか。

そのことが少しでも信じられるようなあなたに蘇ってくださいということを、私は今回「磁場と反転」の本でお伝えしたかったのです。

心で感じ分り合える波動の世界を味わっていきましょう。

宇宙です。アルバートです。次元移行です。そんな波動の世界を心で感じ、ともに喜び合える喜び、そんな喜びを心から感じ合

いたい、共有したい、私はそう思っています。

不思議を体験されるのもいいでしょう。しかし、それをこれからのご自分の転生にいかに繋いでいくか、そこにポイントを持ってきてください。

朝の目覚めはいかがですか。朝、固くなっている筋肉を伸ばし気持ちの良い一日のスタートとしましょう。

半身浴、それから元気よく食事をして、そして、愛の字を見て思う瞬間の瞑想を楽しみ、私の一日は始まります。

私の時間、流れゆく日々の生活の中で、私は私を大切に、そして、私の中の宇宙達とともに、思いを向けていく楽しみ、嬉しさを感じています。

生活に何の憂慮もありません。どうしたい、こうしたい、それもあります。私はこれからの時間、これからの私を思うだけで嬉しいし、幸せです。

待ち望んできたことが現実のものとなって、自分の心に響き伝わってくる喜びを日々味わいながら、私は私を堪能していきます。

ともに歩める幸せ、ともに存在できる幸せ、愛の字から、いつもそのように感じさせていただいています。ありがとうございます。

**これまでの転生は、心の針の向け先というものを全く無視した転生でした。**

当然に幸せになれるはずはありませんでした。

幸せとはどういうことなのか、喜びとはどういうことなのか、真っ暗な狭い中で、ああでもない、こうでもない悪戦苦闘してきた転生でした。

目に見えない世界を心に感じ、神を心に感じ、<sup>みなぎ</sup>漲るパワーを心に感じて、それは全く違う世界でした。

基盤でした。基盤？ そんなものは眼中にありませんでした。

だから、どんなに真実を追求しようとも、本当のことに巡り合うことはできなかつたと、今世の肉を通してようやく我が心に響いてきたのです。

私はそれが嬉しくて、嬉しくて、こうしていけばいいんだということが心で分かって、自分の道を塞いでいたのは本当に自分以外にはいなかったと納得しています。

遮るのをやめたら、そこにさあっと道がありました。それから繰り返し、繰り返し、自分の心で確かめたら、やっぱりそれがそうでした。

もう間違いのない道でした。たった一本の道しか見えないから、あとは簡単です。

そこに心の針を向けていくだけ。それだけでよかった。しかしここに行き着くまで、何と長かったことか。そう振り返れる幸せを感じています。

誰でもが幸せと喜びを感じられる、産まれてきたことを心から喜べる自分になる、それが母の反省でした。



自分を産んでくれた母に向かって出す自分のエネルギーを、本当に心で感じ、心で受け止めていくことが、自分の道を切り開いていくことだと心から思います。自分の培ってきたエネルギーが一番分かります。

自分に肉をくれたことと、自分のエネルギーが一番分かりやすい形で知らせてくれたこと、こんなありがたい存在はないでしょう。

その上で、今ならば、磁場と反転なんです。草書体の愛なんです。

母の反省が充分でなければ、他力のエネルギーの中に埋もれてきた自分を心で受け止めて、その方向を変えていくことはできません。

心は敏感になります。磁場と思い、反転と思えば心に感じることもあるでしょう。

草書体の愛を見るだけで、不思議な体験をされることもあるでしょう。

ただし、地道な母の反省を重ね、そして、母を思う瞑想、ゼロ歳の瞑想を重ね、いわゆる基本をしっかりと積み上げてきた人と、そうでない人、基本をいい加減にしてきた人とは、感じ方も違います。そして、それはこれからの自分の学び、転生に大きな影響を与えていきます。

**自分を学ぶために私達は産まれてきました。どうぞ、しっかりと可能な限り、自分を知って肉を置いていきましょう。本当の人生を生きていきましょう。**

今、**草書体の愛**は、私の家のあちらこちらで目にします。

食卓の上でも、壁でも、パソコンの机の上でも、そして、寝る時でも、いつも愛が視野に入っています。愛のストラップはもちろん、身近で活用しています。

ラミネートされた愛を最初に一瞬見たとき、私がふっと感じたものは爽やかな風だったと誰かに言ったことがあります。

本当にあの時、私はそういうふうに関じ、ああ、これは見るだけでいいんだと思いました。その時、心で感じるってこういうことだなあと感じたのも憶えています。

今も、愛を見ながら、パソコンのキーを叩いています。見れば見るほどいいですね。いつも愛を見ながら、ということは、いつも磁場を思いながら、アルバートを思いながら、ということですから幸せです。

**心はどこと直結しているか、この愛と直結していればいいんです。**そうして、一日、一日を楽しくゆったりと過ごしていけば、何の問題もありません。草書体の愛は、そのように語ってきます。喜びと温もりですよと伝えてきます。

皆さん、日々瞑想を重ねておられますか。瞑想をしてください。瞑想です。最後は瞑想です。

瞑想をして、自分の心で感じ、その感じたものを信じていく、信じていける作業を重ねていけば、どんなに自分が愚かだったかがどなたの心にも響いてきます。

そして、そんな愚かだった自分にもかかわらず、今、こうして

その愚かな自分を感じることができることが嬉しい、幸せ、ありがとうとなってきます。

本当に何も要りません。自分の中に確たるものがあつた、これだ、これだと本当になってきたら、何も必要としません。250年、300年に至る確たる思いに勝るものはないからです。

しかし、そう思えば、不思議なもので、形の世界も満たされているのです。満たされているから、何も特別なものは要らないとなってくるんです。

要らないと思つても、十二分に整っている環境の中で、私は、今、ゆったりとゆっくりと思ひ通りに次元移行に至る自分の道を歩いています。

これこそがどんなに幸せなことなのかと感じながら、こんなに幸せでいいのかと思ひながら、私は私の計画を遂行していく楽しみを日々味わっています。

すべては自分の計画してきたことです。予定通りの道を予定通りに歩いていくことが一番喜ばしいことだと思っています。

温もりと喜びの自分だと自分の中を広げていくのも自分だし、自分を落とし込めていくのも自分です。

落とし込めていくというのは、私はダメだと小さくなっていくこと、反対に我一番としていくこと、どちらも意味します。

どちらも間違っています。間違っているから必ず間違つた結果が出てきます。だからいいんです。間違つた結果が出てくること、目に見えて分かる間違つた結果が出てくるから、非常に分かりや

すいと思います。

だから、素直にそうだったと気付いていけば、心は広がってきます。

心が広がっていけば、自然に幸せな自分だったと分かります。自分で自分を苦しめてきたことがはっきりと分かります。

あとは、こうすればこうなる、このように思いを向けていけば、すうっと心が広がり何とも言えない喜びが感じられるんだということをつねに繰り返して、自分の中で体験していけばいいだけです。

その学習の場を、今、このように自分達に用意しています。

ドミノ倒しってご存じですか。あれです。一つのコマというか札が倒れたら、そこから連鎖してどんどん倒れていく、あの連鎖を自分の中でしていけばいいんです。良い連鎖を楽しみながら日々の時間を過ごしていきましょう。

10月28日のスカイプ瞑想会、ありがとうございました。私自身、大変良いお勉強ができました。

草書体の愛に手を置いて瞑想をされて、どうでしたでしょうか。

あなたの心に響いてきたことを大切になさって、日々今日のような瞑想の時間を持ってください。

また、田池留吉、アルバートからのメッセージを伝えさせていただきました。どうぞ、あなたの心でしっかりと受け止めていただき、これからの学びに活用してってください。やるかやらないかはあなた次第です。

今日の瞑想会でも感じられたと思いますが、草書体の愛を通し

て流れてくる波動、エネルギー、パワーの世界こそ真実の世界です。そして、それが私達の本当の世界です。草書体の愛は私達自身なんです。私達の心の中から伝えてくれている本当の自分です。その波動、エネルギー、パワーの指し示す方向に少しでも近づいていけるようになっていきましょう。

心も身体も元気、元気で、ともに一步を進めていきましょう。

私は大変幸せでした。心に響き伝わってくるエネルギーはすごかったです。本当にありがとうございました。

それぞれが、自分の心の中にある温もりと喜びを知り感じ、そして、その世界を確立する方向に、ほんの少しでも自分の歩みを進めていくことに全力を傾けてください。

人を見ては落ちていきます。もっとずっと奥底に落ちていきます。

心の針は中です。自分の中に向けていくことに専念してください。

瞑想をして自分の中に響いてくるものを感じ、それが苦しみであっても、喜びであっても、みんな元々は一つだったことを伝え合っていきましょう。

そして、凄まじいエネルギーを感じていけばいくほどに、喜びが大きくなっていく体験を重ねていきましょう。

草書体の愛は、そのことを促しています。

凄まじいエネルギーだからこそ、次元を超えていこうと呼びかけていけるんです。そのエネルギーの奥底を感じていけば分かり

ます。<sup>みなぎ</sup>漲る力を感じていきましょう。ともに超えていこう、たくさん自分の自分にそう呼びかけて、そして、それに応えてくれるたくさん自分を感ずる、それが**瞑想の醍醐味**です。温もりが溢れてきます。喜びが溢れてきます。

そんな時を、今、持てる喜び、幸せを、たくさん、たくさん味わってください。

自分の道が見えてきたら、つまり、次元移行へ至る道がはっきりと自分の心で感じるようになってくれば、その人は、ほおっておいても学びを遂行していきます。

自分の道を、淡々と着実に、喜びで歩いていきます。

そうすることがすべてであることが自ずと分かるからです。そして、そうできることが喜びなんだと、瞬間、瞬間、心に感じるから、その軌道は絶対です。

行く先明るい手ごたえを実感してくれば、なおいっそう、自分と語り合う喜びが湧いて出てきます。

そういう世界を自分の中に確立することなく、肉を持つ時間を終えるとは、一体どういうことなのでしょう。

どんなに心が満たされても、それは違っていました。

自分というものが、はっきりと心で感じてこなければ、どんなに肉が優雅であっても、それは全く違っていました。

**「何も欲しくはなかった。ただ自分を取り戻したかった。その自分とは何かを全く取り違えてきた」、**この思いを確認しながら、私は、今、幸せな時を刻んでいます。

学びの基礎はすでにできているし、学びをサポートしてくれスタッフも揃っています。

本気で学ぼうと思う人にとって、今のこんな恵まれた環境はありません。

あとは、それをありがたいと素直に受け入れて、ただひたすらに学びの指針に沿っていけばいいだけです。

ただし、心を見る。心を見て、自分の作ってきたエネルギーを心に受け止める。そして、さらに瞑想を重ねて、そのエネルギーを本来のエネルギーに帰していく。それらの一連の作業は、誰も肩代わりはできません。どんなに学ぶ環境が整えられていても、それを活用できるか否かはまた別問題です。

そういうことはあるとしても、今は本当に恵まれています。至れり尽くせりの中で、さあどうぞ学んでください、学んでいきましょうと言われていています。本当に思えば思うほどに、何とありがたいことでしょうか。

本気になって学んでください。真剣に学んでください。今世しかない思いで学んでください。

UTAの輪が広がっていくことを感じるのが、私にはとても嬉しいです。

その喜び、その嬉しさ、その幸せを感じながら、私は私の勉強をやり続けます。

250年、300年に至る中で、私は私を見つめ、感じ、そしてともに次元移行へというメッセージを流す、その準備段階が今世の肉を通してすでに整えられていることを感じています。

その道筋、その計画を粛々と遂行していく喜び、手ごたえ、今世の肉のある間に、さらに深めていくでしょう。

田池留吉の肉というものがあるお勉強は、予定通りの水準まで達したことを感じています。そして、それをさらに自分の中で、私の勉強として、高めていく計画を私は持っています。

肉が消えたという現実をしっかりととらえながら、しかし、肉があるのと同じように、いいえ、それ以上に心に伝わってくる波動、エネルギーを確認しながら、私はともに共鳴できる喜び、幸せを感じていくでしょう。その中で、はっきりとしたメッセージを発信していきます。

それが私にとって、大変、大変良いお勉強となっていきます。250年後の来世の私に引き継ぐ喜びを感じながらの時間を用意しています。

草書体の愛に思いを向けての瞑想。

母なる宇宙へ向けて瞑想を続けていきましょう。母なる宇宙です。私達の心の中にあつた母なる宇宙へ心に向けてまいりましょう。

私は愛を見て、心を愛に向けたとき、ようやくこの喜びの自分



と出会えた今を本当に喜んでいる私を感じます。愛は私の中にありました。愛は私でした。私は、愛を求めてさ迷い続けてまいりました。たくさん、たくさんの宇宙を作り続け、ブラックのエネルギーを垂れ流してきました。今、愛に向けて、私はただひたすら愛に向けて、瞑想を重ねることが喜びなんです。

心の中にお母さんと呼ぶ私の思いがあります。母なる宇宙へ帰りたくと心の中を見つめながら、私は自分の作ってきたブラックの宇宙を心に受け入れてきました。これからも受け入れていきます。

宇宙が語ってきます。心の中にどんどんそのエネルギーが語ってきます。ブラックです。ブラックの宇宙です。しかし、私の心の中には何も恐れるものはございません。なぜなら、私は愛そのものだからです。愛のエネルギー、優しく、優しく広がっていく、温もりの中へ広がっていく、私の中です。

私はこの愛の中にありました。私自身が愛でした。愛を捨てた時、私は私でなくなりました。だから、たくさんの宇宙を自分の外に作ってきました。そのエネルギーを広げていくことが私の喜びだとしてきたんです。我の力を示していくことが喜びだとしてきました。

たくさんの宇宙達が心に帰ってきます。

「あれは間違いだったのですか。あれも間違いだったのですか。こんなに苦しい私達なんです。どうぞ、どうぞ、ああ、私達を救ってください。私達に愛を伝えてください。」

私はそんなたくさんの宇宙達の存在を心に感じています。私はこれから250年に至る時間、この宇宙達に愛を伝えていきます。

これが私達の本当の姿でした。温もりと喜びの中にあった私達を思い出していきましょうとメッセージを送っていきます。私は心の中に喜びを広げていきます。もっと、もっと、もっと、たくさんの宇宙達に喜びを伝えていきます。

これからの250年は激動の時間だと伝えました。

まさにその通りです。私達の日覚めは喜びのエネルギーをこの宇宙に発するからです。宇宙が変わっていくと伝えました。今世を境にして宇宙が変わっていくと。

はい、嬉しいです。こうして私達に長い、長い間、いいえ、私達が愛を捨てた瞬間から私達に伝えてくださった意識を感じます。

はい、ありがとうございます。変わりませんでした。全く変わらなかった。今、ようやくその意識の世界を心で感じられるようになりました。ブラックではなく、本当に明るい世界、温もりと喜びに満ち溢れた世界を心に感じています。

はい、そうでした。ずっと、ずっと伝えてくれていました。この世界を伝えてくれていました。ありがとうございます。

ようやく、ようやくです。ようやく、ようやく、あなたが伝えてくれた喜びを知りました。私は喜びでした。ああ、お母さんの温もりの中にありました。

お母さんを捨てても、私の中にありました。私は愛を捨てたけれど、愛は私の中にありました。変わらずにありました。そのことが分かって嬉しいです。私を分かるために今の私がありました。いいえ、今の肉がありました。

早く、一日でも早く、本当の学び、自分が望んできた本当の学びの軌道に自分を乗せれるようになってください。

日々の生活の中で感じた自分のエネルギーは、今のあなたの生活を滞りなく、つつがなくあなたの人生を終えていくために、あなたに伝えているのではありません。

そこから、まだまだたくさんの、たくさんの気が遠くなるほどのたくさんの意識達の存在に、どうぞ、心に向けてくださいと、今、必死になってあなたがあなたを通して伝えています。

どうぞ、そのところに気付いてください。

愛、そして、磁場を思えば、宇宙です。宇宙という感覚が自分の中に感じてくるようになれば、本当に瞑想をする楽しみ、瞑想をする大切さ、瞑想ができる喜び、瞑想しかない、そういうことが手に取るように分かります。

それを阻止し、拒んできたのは、他ならない自分自身だったこと、自分を知らずに偽りの自分を自分だとしてきた愚かさ、そういうものをしっかりとはっきりと心を感じてから、今の肉体を置いてください。

心の針の向け先が特定できれば、何の心配もありません。何の問題もありません。心の針の向け先の特定、それはやってみれば感じていくことですが、最後の最後は瞑想でしかできないことです。

目を閉じて、そうです、五官を閉じて、自分の中に伝わってく

る世界、その世界を本当に感じていき、それが自分の今だと感じていけば感じていくほど、瞑想がいかに大切であるのかが分かります。

肉を持って、肉を持たない自分を感じる。それを繰り返し、繰り返し続けていく。そんな時間を積み重ねていくことが自分を学んでいくことだと私は思っています。そして、自分を学んでいくために、今こうして肉を持っているとはっきりとを感じるから、そんな時間をたくさん持てることが幸せなことだと認識しています。

自分を学んでいくことについて、自分の現状を知っていくことについて、それは人と接する時、出来事と接する時、もちろん、それらは大きなチャンスです。

そして、それと匹敵する、いいえ、それ以上に自分を学び、自分の現状を知っていけるのは、磁場を思い、愛を思い、自分の心の針の向け先を特定することにより、自ずと心に響き伝わってくる瞑想という手法を通してです。

正しい瞑想の仕方を学ばせていただき、私は私を学んでいけることを喜んでいきます。今という時間、今のこの肉体を通して、自分の現状を知っていくことにより、自分の中にさらなる活力が出てきます。

私はそれを実感しています。最後の最後は瞑想。瞑想をして、自分の心で感じていく、感じたものを信じていく、それしかないとは私は思っています。

自分を信じることができなかった、自分というものが分からなかった、それを反転する術を知ったことは、大きな、大きな、大変大きな成果でした。

今、私は目を閉じて瞑想状態になったとき、心に確かに感じる世界があります。これが私の本当の世界なんだと実感できます。ここを感じれば、私は本当に何も必要としないことを実感します。ただただ嬉しい。それだけです。私が私と語るとき、何とも言えない優しさと温もりを感じます。今、そんな時間が自分に用意できていることを思えば、すべてに整えられていると感じずにはられません。本当にこんなに幸せであっていいのかと思います。幸せを感じるのに本当に何も要りませんでした。もともと私の中にあっただと実感できる今です。

本当の自分との出会いを現実のものとするために、どれだけの時間を要してきたことか。しかし、その失敗の連続があったからこそ、今という時を迎えられたと思えば、すべてがよかったんだというところに落ち着きます。そして、あと僅かな時間で、また次のステージで自分を学ぶ、自分を感じていけるんだから、こんな幸せなことはないでしょう。

思えば思うほど、感じていけば感じていくほど、すごいことを学んでいるんだ、けれどもこれは全部自分が待ち望んできたことなんだ、すごいなあ、よかったなあ、やっただ、そんな思いしか出てきません。だから、自分を思えば、自分のこれまでを思えば思うほどに嬉しい、本当に嬉しいです。

草書体の愛を毎日、何度も何度も見てくださいますとありました。

私の日常はそのようになっています。家のあちらこちらで目にしています。職場でも、家と職場の行き帰りでも、どこでも私は愛を目にしています。愛に触れています。

そして、何よりも、私は愛を思って瞑想をすることが日常化しています。

すごいです。思いを向けて感じる世界はすごいです。ただただ嬉しくて、嬉しくて、瞑想の時間が短くても長くても、私の心にはっきりと響いてくる、伝わってくる世界があります。

私は、これからもこうして自分を感じていける時間が続いていくんだと思えることが嬉しいんです。愛を思って瞑想をするということは自分を思って瞑想をすることなんだ、どんどん自分が響いてくるんだと思うと、もうたまらなくなります。

「磁場、反転、転写、愛、宇宙、アルバート、表現は違えども、すべてはエネルギー、喜びのエネルギー。そのエネルギーを心を感じ広げていきなさい。どんどん感じ、どんどん広げていこう」、私の中でそんな思いが行き交います。

先月のスカイプの瞑想会から10日経ちました。その瞑想を経て、そして、自宅で瞑想を繰り返し、何かまた私の中が変わったというか、そんな気がします。ゆったりと喜びで瞑想ができる時間と空間に感謝です。愛に心を向けていれば、本当の自分に心を向けていれば、間違いのないこと、そう確認できる今にありがとうしかありません。

愛を思う瞑想より。

瞑想を重ねていけばいくほどに、なぜ私達は産まれてくるのか、産まれてきたのか、その原点を本当に心で知っていくことがすべてだと感じられます。そこがスタート地点。スタート地点が違ってれば、あと全部違ってきます。全部違ったところにどんなに立派なものを築いても…ということが、自分の中で分かってくるのに膨大な時を要してきたことを感じるばかりです。それほどに形の世界がすべてだとしてきた思いは強固で、その世界は影だと心から知っていく困難さの中で、こうしてこの学びに出会ったのだということです。

だから、心に感じる世界があればあるほどに、自分を大切に生きて生きることを思わずにはられません。自分を大切に生きて生きることをかみしめながら、私は自分の時間をこうして用意しているんだと感じています。

なぜ産まれてくるのか、産まれてきたのか、日々その原点に立ち返り、私は私の歩みを進めています。確かな足取りで自分にありがとうを伝えながら、たくさんの自分とともに存在している現実を、こうして感じさせていただいています。

瞑想をして、心に感じ、心に響いてくる人は、どんどんそういう時間を持つようにしていきましょう。

肉体を離せば、自分の心が残るだけです。その心の世界を、肉体を持っている今、しっかりと感じていきましょう。自分の現状把握に努めていってください。

肉体を離すことを現実のものとして、自分の学びを進めていってください。

まだ遠い将来のことではありません。肉体を持っている今、自分の意識の世界をより正確に把握することは、なかなか難しいかもしれませんが、その点を踏まえながら学んでいくべきだと私は思っています。

自分を誇ってみても仕方がないことです。自分の現状はどのようなかというところから自分を感じていけば、そんなことをしている場合ではないことは、きっと皆さん、薄々感じておられるところではないでしょうか。

それでも出てくる己一番かもしれません。しかし、もう時間はないことを、これもまたしっかりと踏まえながら、次の転生に繋げることができるような今の時間にしてください。**肉体を離れた後の自分を感じながら学んでいきましょう。**

「意識の流れ」「続意識の流れ」「意識の転回」をベースにして、「母なる宇宙とともにⅠ、Ⅱ」「宇宙の風」を読みこなして、その勢い、その流れで「磁場と反転」を一気に読み進めてください。

同時にラミネートされた愛を活用してご理解を深めてください。そういう実践を積み重ねて、田池留吉の世界へ一歩入ってきてください。

そして、どれもこれも最後に行き着くところは瞑想です。

瞑想の大切さ、瞑想の喜び、どんどん心に感じていきましょう。

**1 2月のセミナーを皮切りにして、本格的に宇宙に向けての瞑**



想が始まります。2013年のセミナーは宇宙に向けてどんどん語りかけていくセミナーになっていくでしょう。

そうして2014年を迎えます。そのお勉強を真っ直ぐに遂行していきましょう。

どうぞ、我流ではなくて、上記に示したことを必ず実践してください。

そうすれば、UTAの輪がどのようなものなのか、喜びでああなたの心に響き伝わってくるでしょう。ともに学んでまいりましょう。

自分の道が見えるというか、次元移行という意識の流れを感じるというか、それがしっかりと心に響いてくるから、私は私を思うことがたまらなく嬉しいです。

特に**宇宙**と思い心を広げていくと、本当にすごいエネルギーを感じます。

それがたまらなく嬉しいです。私の喜びは宇宙とともにあることを感じます。こうして肉を持ち、宇宙とともにようやく一つになって存在していける道が目の前に広がっているのを確認できる今という時が、ただただ嬉しいだけです。

自分の外に喜びを、自分の外に温もりを、自分の外に安らぎを、自分の外にパワーを、これまでの転生、そんな生き方しかできなかったことに対して、自分に申し訳なくてなりません。

自己確立の道。自己確立の手ごたえ。その喜びと力強い思いがこれからの私をどんどん引っ張っていってくれると確信していま

す。

私は何も要らない。自分のこの心があればいい。ここからすべてが始まっていったことを感じるから、そこへ自分を戻していけばいいだけのことでした。それを学ばせていただきました。これからも学び続けます。私は私の中で学び続けます。

**五訓**、流れるようにスムーズに真実の道を示してくれています。

一 ……、一 ……、学びの指針が凝縮されています。

日々見ながら、瞑想を続けています。

愛を見て、愛を思って瞑想。本を読んでまた瞑想。

瞑想とは五官を閉じること。心の針を自分の中に向けること。向けて思うこと。思えることが喜びだ、思えることがすごいと自ずと響いてくれば、さらに思っていきましょう。ただ思う、ただただ思う、一点を見つめてただひたすらに思う。心に広がり伝わってくる世界にありがとうございます。自分の中の温もり、自分の中の喜び、自分の中の宇宙達とともに、ありがとうございます。心に広げていきましょう。

**本来はマイナスのエネルギーなど存在しません。**

マイナスと感じるエネルギーは、すべて作られたものです。真実を知らずにきた長い、長い時間の中で作り出されたものです。

プラスのエネルギーがどんなエネルギーなのか、本当はみんな知っていたけれど、それをみんな信じられなくなってしまっただ

けです。

だから、本来の自分に帰ろうとすることは、とても大変なことです。自らを捨てたことも忘れ、自らを信じずにきた時間は膨大です。その事実をしっかりと確認しながら、それでも、このようにして産まれてきた、産んでいただいた事実に感謝しながら、日々の時間を過ごしていきましょう。

心に向ければありがとう。心に向ければ嬉しい。自分を待っていてくれた自分にありがとう。そんな思いがどんどん湧いて出てくる時間に触れて、静かな、静かな喜びが広がっていきます。心に響いてくることは素晴らしいことです。自分を思えば、ただただ心に伝わってくる温もりと喜びがあった、その出会いが私には嬉しかったです。

瞑想です。時間は短くても長くても、しかし、必ず毎日、毎日してください。瞑想とは五官を閉じることです。瞑想とは心の針を中に向けることです。瞑想とは自分と対話することです。

思いが伝わってきますから、どうぞ、それらの意識達と語ってください。

それらの意識達は、全部自分です。自分の中の世界です。自分が自分に語りかけられる優しさ、喜びを感じていきましょう。

心が広がっていきます。そんな時間を、今、共有できる喜びと幸せを感じていきましょう。

「あなたは私、私はあなた、一つ」。一つの中で、通じ合える喜びが確立していけば、ふっと心に向けるだけでいいと分かってき

ます。

しっかりと学んでいきましょう。肉体を離れたあとも、本当の自分と対話できるそんなあなたになれるまで、しっかりと学んでいきましょう。

もともとあった喜びと温もりの世界。もともとあった自分の世界。

もともとあったことが、そうだった、そうだったと自分の心で感じる瞑想の時間がたまらなく嬉しいです。

だから、私は瞑想をします。日々、瞑想を続けています。

優しい自分、温もりの自分、これからの幸せを感じられる自分、そんな自分に触れ、そしてまた、全く何も知らずに苦しみ続けてきた自分に触れ、その両極端にある自分の世界を、今という時間を感じていけることが、本当にすごいことだと思っています。

私は私を包んでいける優しさと温もりの中にあつたことを、心で知るために膨大な時間を経てきたことを感じるにつけ、今をありがとう、ありがとう、自分に対してありがとう、そんな思いで満たされていきます。

これが幸せということでした。これが喜びということでした。本当にありがとう。

日々の瞑想は、私にただただ確信を深め強めさせてくれます。

私は二十年学んでまいりました。確固たる思いがあります。

それは、ただ単に学びと出会えてよかったという軽いものではありません。

それは、私の心が一番よく知っています。

私は、いつの頃からか、自己確立をと言ってきました。

今は、その思いがどんどん強くなっています。本当の意味で、自己を確立させるということが、どんなにすごいことなのか、私は最近の瞑想の中でとみに感じています。

まず、喜びと温もりは自分の中にあったことを本当に心から知った今世を境にして、**本当の自分、愛は全開していく道筋にある**んだということを、私は自分の心で感じています。

だから、本格的に宇宙に向けて瞑想をする時間をこれからいただくんだと思っています。

「磁場と反転」の本にも少々触れさせていただきました。ですが、「宇宙の風」や「母なる宇宙とともに」を、本当に心で読んでみてください。そして、瞑想をお願いします。私達のふるさとへ帰れる喜びをともに味わっていきましょう。

二十年という学びの時間を振り返り、特に**セミナーが闇出し現象一色の当時の時間**は、本当に私にとって最大の喜びの時間だったという思いは、私の中にしっかりとあります。

よくぞ、この分厚い肉の殻を突き破ってくれた、そんな懐かしい感慨を心に持ち、今は、愛を思い瞑想をするだけで、心が広がっていきます。

愛を思い瞑想をするということは、宇宙を思い瞑想をすること、

宇宙を思い瞑想をすれば、ただただ喜びがすごい勢いで感じられます。凄まじいエネルギーを感じられることが喜びなんです。

そんな心の状態、意識の世界の蓋を開いてくれたのが、あの闇出し現象でした。

母の温もりを心に蘇らせ、ようやく、自分の作ってきたエネルギーを受け入れられる状態に持って行ってくれたんです。手順を踏んだからこそ、私は狂うことなく、闘いと恐怖の中に沈んできた宇宙のエネルギーを心に受け止められるまでになりました。

私は、私のペースで瞑想をしています。そういう環境にある今、そうできる環境にある今を喜んで受け入れています。愛を思う、宇宙を思う、それだけで大きな仕事をしていけるんだと感じています。

これまでたくさんの汗と涙を流してきたセミナーでした。

私の心の歴史の大きな転換期を今世に迎え、これからの時間を通過していきます。

心で学び心に広げてきた確信をさらに強め、これからの時間を通過していける喜びを日々の瞑想で確認させていただいています。

学ぶ人は、どんどん学んでください。自己選択・自己責任のもとに、学びを深めていきましょう。

打てば響く、そんな意識の世界を自分の中に確立していきましょう。

次元移行へ、次元移行へといざなってくれている波動、エネルギーに、素直に、素直に反応して、ともに行こうと自分に呼びか

けていける頼もしくて力強い自分を感じていきましょう。

瞑想は喜びです。五官を閉じて一点に集中していける今という時間と空間を、堪能してってください。

愛、愛、愛、ここに帰っていくことを、しっかりと、しっかりと確認できる毎日であってください。

田池留吉氏が、どんどん学びについて詰めをしてくれていることが、とてもありがたいです。結局は自分で学んでいくこと、自分の心で分かっていくこと。打てば響く、そんな喜びをともに味わいたいです。

宇宙に向ける瞑想を通して、来世の私の喜びが心に広がってきます。

ああ、ずっと、これから永遠に続いていく喜びの道。喜びの時間。そんなことを感じながら、日々の瞑想を重ねています。

すべてが整えられている中で、自分を感じていくこんな時間を用意していたなんて、どんなに地獄を作り出してきても、本当にすべてが愛の中にあったことを感じるばかりです。

自分を自分が導いていっている、しかもようやく、ようやく、たった一つの正しい方向に自分を向けていっている、この手ごたえを実感するために、今こうして肉を持ってきているんだ、来世肉を持つんだ、私の中ではそれは決して変わらない現実でした。

嬉しいです。本当に嬉しいです。異語とともに、私の思いが込み上がってきます。そんな嬉しい、嬉しい時を私は持たせていただいています。

いくらでも、いくらでも、自分を熱く語ることができます。私の中には噴き出してくる思いがあります。

ようやく、ようやくにして、自分と巡り会えたんですから。

自分を抹殺してきた私にとって、この心の中に優しさとか温もりが湧いて出てきて、突き上がってくることなんて夢のまた夢のお話でした。

私はパワーを求めてきました。

しかし、一つとして私の心を満たすものは全くどこにもありませんでした。本当にどこにもありませんでした。

今世もまた、私は性懲りもなく、大きな間違いを繰り返すところでした。

しかし、後がない断崖絶壁のところで私は踏みとどまりました。

危ういところでした。絶対に失敗は許されないぎりぎりの状態で、今のこの肉を持たせていただいたのに、危うく、その自分の本意をまたしても闇の奥底に置き去りにしていくところでした。

今は、確実に自分の心を取り戻しています。自分の本来の軌道に自分を乗せている確固たる思いがあります。

力強い思いは、私の中でさらに喜びへ、そして、真実の方向へと自分を向けてくれます。

自己確立の道。自己確立の喜び。自己確立の手ごたえ。

自分に用意してきた時間と空間を最大限に活用して、私は、私の道を歩み続けることに無上の喜びを感じています。宇宙は私の心の中にある懐かしい私のふるさとです。その宇宙に帰る道、愛



に帰る道を私はただひたすらに見つめているだけです。

今世と来世を合算しても、100年に満たない肉を持つ時間。愛しく、大切に、愚かな肉とともにその時間を持たせていただきます。

私の喜びは、死んだ自分（過去）と語り、来世の自分と語ることができることです。そしてそれは、今の私に確実な自分の道を示してくれます。

自分が自分に指し示す方向に、ようやくにして安心しながら歩いていける、この道をただただ見つめていけばいいんだと自分の中から伝わってくる、そういうことを、私は繰り返し、繰り返し、自分の中で確認しています。

目を閉じて思いを向けていけば、そんな自分との出会いがあります。

何の憂いもなく、何の悩みもなく、何不自由のない今の環境に肉は浸りながら、しかし、こうして肉にゆとりがあって、ゆったりとした静かな時間と空間が用意できていることを嬉しく受け取りながら、死んだ自分（過去）と語り、来世の自分と語ることを続けていきます。

自己を確立させることの大切さと喜び、そして、厳しさを学ぶ日々です。想像もできないほどの時間を経て、ここに至っている喜びをかみしめながら、今日も一日生きていきます。嬉しいです。

今、私は「母なる宇宙とともに」のⅠとⅡの合本作業をしています。

最初の発刊から5年の年月が経ちました。

合本ですから、内容がガラリと変わるということではありませんが、新刊が出れば、できれば手許に置いてやってください。

私も、そして、あなたも、5年という年月学びをしてまいりました。

本の中の語句は同じでも、そこから流れる波動、エネルギーはどうでしょうか。おそらく、あなたの心に届くものは5年前のそれとはまた違っているでしょう。

宇宙はこれからの私達に本当に大きく関わってきます。どうぞ、このことをあなたの心で感じられるようになってください。

愛を思う瞑想より、あなたの中の宇宙にどんどん心に向けていてください。いつも、いつも私達に語ってくれている母なる宇宙からの波動を心で受けていきましょう。

日々、淡々と次元移行へ向かって生きていく喜びと幸せを、どうぞ、今のあなたから感じていってください。

目に見えずとも、宇宙にさ迷うたくさんの意識達に、本当に優しく心に向けて語っていけるようになっていきましょう。

どうぞ、五官を閉じて心に向けていってください。

もちろん、日々の生活が、滞りなく流れていくことによって、その作業はよりいっそう効率を増してきます。

というよりも、五官を閉じて無条件に心に向けていくと、日々

の生活が滞りなく流れていっているということなのでしょう。

どうでもいいことにエネルギーを注ぐならば、ただひたすら自分の中に針を向けて、自分と語っていくことにエネルギーを費やしてください。

宇宙は待っています。ともに行こうと呼びかけてくれるのを待っています。

もう時間はありません。本当にありません。このこともまた心で感じてください。

### 愛に触れて、愛を見て、愛を思って瞑想。

私の机の上は草書の愛だらけです。その机にパソコンを置いて、勉強をしています。食卓も愛だらけです。家には大きな字の五訓もあります。

形の上からも、勉強をする環境をしっかりと整えています。

そして、何よりも、大切なのは瞑想です。瞑想を続けていることです。私の瞑想は、愛を思います。磁場を思います。宇宙を思います。いつも、私は私とともに。そんな中で、今、私は私の勉強をさせていただいています。

これ以外に幸せなことはあるでしょうか。

そして、もちろん、思えば心に響きます。心に伝わってきます。だから、また瞑想をします。心を中心に向ける時間をいただきます。語り合える時間をいただきます。

私は、こうして自分の時間を過ごしています。喜びと温もりの世界を確認しながら、毎日が楽しいです。私は本当に何も要ら

ない。物質的にも不足なものは何もないから、そのようにも思うのかもしれませんが、何か気が付けば、すべてが整えられていて、本当に何も要らないとだけ出てきます。思うこと、思えることを自分のものにしたからなのでしょう。

愛に触れて、愛を見て、愛を思っで瞑想。

磁場と反転のエネルギーの確かさを自分の心で実感して、そして、次元移行という意識の流れを心に広げ、それを深めていく方向へ学びを進めていきましょう。

せっかく学びに触れたんです。しっかりと次元移行を伝える意識の流れを心に感じてください。

今のあなたを通して、あなたの過去、未来、すべての宇宙に向けて愛のエネルギーを発信できるようになってください。

心に母の温もりを復活させ、そして、さらに宇宙に向けて瞑想を重ねていきましょう。

素直に宇宙に心に向けられるあなたになってください。宇宙は待っています。どうぞ、そのことが心で感じられる優しい、優しいあなたに蘇ってください。

今日の愛を思う瞑想は強烈でした。両手にジンジン電流が走っているのが分かりました。

すごいエネルギーです。ものすごい勢いで突き抜けていくエネルギー、パワーを感じました。

このエネルギーを感じられることがとても幸せでした。ただただ幸せでした。待ち続けてきた思いのすごさを感じ、それは、心の底の、底の、底からの思いでした。

そして、瞑想を終えたあとのメッセージは本当に心に響いてきました。一言、一言にそうだ、そうだ、そうなんだ、その通りなんだという思いが、嬉しくて、嬉しくて、そして、やはり宇宙に向けていけるこれからが嬉しくて、もう何とも言えない思いに私は満たされていました。

一言、一言に、私は異語で応えていました。ただただありがとうございますしかありません。さらに宇宙に心を向けてまいります。

私の中が一つになって、一斉にアルバート、アルバートと思いを向けて、アルバートを呼んでいる嬉しさ、心地良さ。それは遙か、遙か彼方より、ずっと、ずっと私の中で待ち続けてきた私の心の叫びです。

その心の底の、底の、底の叫びを、今、聞けて、そして、その思いが、ようやくにして現実のものとなった、なっていく喜びは、ああ、もう何にも例えようもないものです。

愛を思う瞑想をして、宇宙に向けて瞑想をして、このエネルギー、このパワーが心に響き渡ってくるのがたまらなく嬉しいです。たまらないものがあります。

天変地異は必然的なもの。絶対に必要なもの。愛しかないから、だから、愛に復活していくために、愛（私達）が起こす喜び。その通りでした。

私の幸せ、喜びは、自分の中に戻ること。自分に思いを向けていけば、必ず温もりの自分、優しさの自分、そして、これからの喜びを感じます。

それが自分の中に戻って、自分を感じることに。

そして、その喜び、その温もりは、私が過去より作ってきた狂い間違い続けてきた世界があったからこそ、私の中に鮮明に蘇ってきます。

**愛を思い瞑想。宇宙を思い瞑想。母を思い瞑想。**みんなみんな真実の世界、エネルギー、パワーを私に伝えてくれます。

私は、今、瞑想を続けていて、やはり二十年という学びの時間をしみじみ感じます。私には必要な時間でした。そして、私とともに、ようやく歩みを進めていける道筋が付いたことを実感する中で、自己確立の喜びの時間を学んでいけることに感謝しています。

みんなみんな心が知っていました。大切なことは初めから自分の中にありました。学びに集って、その都度のお勉強をさせていただいて、そう、それらはみんな初めから自分の中にあっただ、そのように学ばせていただいたことが、何よりも、何よりも嬉しいことでした。

真剣に、そして真摯に、素直に、ただただひたすらに、真実の方向へ一歩を歩み出していく方達と、私は喜びを共有したいので

す。

本当に心の底の、底の、底から、この学びと出会えてよかったと、本当にそのような喜びの中で学びを進めていきたいんです。

現世利益などもういいです。今の生活のために、私達は学びをしているわけではないんです。そこのところを、もっと厳正にそれぞれが見極めてください。学びのすそ野など取り立てて広げていなくても、心に交信してくる仲間達、肉を持たない仲間達とともに次元移行へ向けて一步、また一步と歩みを進めていけば、それがどんなにすごいエネルギーになるのか、どんなにすごいパワーなのか、私は、もう自分の心で確認しています。

**どうぞ、真剣に瞑想をしてください。そしてその前に、基本をしっかりと学んでください。そうしない人達、そうできない人達は、いずれまた自分を見限っていきます。前向きに、自分に真摯に学んでください。**

愛と思いを向ければ、愛ですと応えます。自分の中は愛に満たされていると心から信じていけば、本当に自分以外に何もない、何も必要としない心の世界を感じます。そして、それが間違いなく私自身でしたと実感していけば、こんなに幸せなことはないでしょう。

心の針を向け合わせていく訓練、鍛練、トレーニング。やがて肉を離していく時期がどなたにもやってくるのだから、今、肉を持っている間にしっかりと積んでいくことです。

学んで結果を出して、そして、その結果をもとにまた自分の中

で学ぶ。真っ暗闇の中から這い上がってきた今世は、大きな補助の手が要りました。それが田池留吉氏でした。しかし、もう道は見え、道を確認し、さらに確認するということですから、ともに心をつにして生きていくことが可能となりました。

本当にありがとうございます。さらに愛に向けて、さらなる喜びの世界、広がりゆく温もりの世界、真実へ一步さらに一步と確実な歩みをともにしようと呼びかけてくださることが、何よりの幸せです。

来年初冬に出版される本を作っていく過程が私には何よりの喜びであり、楽しみです。

その楽しみと喜びを感じながら、今はまず、増補改訂版の「母なる宇宙とともに」を仕上げてまいります。

「磁場と反転」の本も送り出すことができました。あとは、それぞれが正しい瞑想を日々怠ることなく続け、心の針を向ける合わせる訓練を重ねていくだけです。

どうぞ、ともに次元を超えていく喜びの宇宙を心に感じていきましょう。

今世、私達が産まれてきたのは、ここを感じ、ここを確認するためです。学びに繋がった人の一人でも多くの人にそれを知っていただきたいという思いは変わらずにあります。それももう見切り発車的な感があります。

準備はもうすでに万端整えられています。私達とともに行こうとする方はともに行きましょう。すべて自己選択・自己責任です。



何度も何度も繰り返します。瞑想、瞑想、瞑想です。

正しい瞑想ができるように、しっかりと学んでいきましょう。自分の心を見てください。そして、愛に触れて、愛を見て、愛を思って瞑想。

その実践を積んでいない人は、セミナーに参加されても全く無駄とは言いませんが、殆どそれに近いです。

見切り発車という言葉を出しましたが、私達が切り捨てるのではありません。素直でない人、己の偉い人は、自分で自分を切り捨てていくんです。

そしてあとは、お決まりのコースを辿ります。恨み節です。呪う思いがさらに自分を苦しめていきます。その循環を自らスパッと断ち切っていない限り、何も変わりはありません。自分を恨み、自分を呪っていることが分からないようでは何も変わりません。

瞑想をしていけばいくほど、喜びと温もりを感じていきますが、それに連れて意識の世界の厳しさがどんどん伝わってきます。

しかし、その厳しさは、自分が本当に望んできたことなんです。愛を復活させるためには、余程の覚悟がある、けれども私は必ず自分を取り戻す、そんな決意の中で肉を持ってきた自分が響いてきます。

自分を絶対に裏切らない。自分を絶対に信じていく。その決意、その自分に対する信を深く強く感じていけるところに、瞑想の喜びがあります。そんな瞑想を積み重ねていきましょう。そんな時間と空間を持てる今が私にはとても嬉しいです。

愛を思って瞑想をしていると、本当に何ひとつとして余計なものはない、マイナスのものなんて何もなかった、形の上から見れば良いことも悪いこともみんな良いことだった、そう自分の心に響いてくるでしょう。自分の心にそう伝わってくれば、何か嬉しくなってきましたか。

みんなプラスだった、みんなよかったんだ、本当の自分に帰っていくためだったんだ、どんどん心に響いてくれば、そこにはただありがたうしかないですね。

私は、草書体の愛を思い浮かべながら、そして、心を向けると、自ずと宇宙が出てくるんです。これから250年に至る時を感じるんです。だから、愛を思う瞑想はただただ嬉しいだけです。愛を思い宇宙と思い、心に響いてくるエネルギーがどんなに凄まじいものであっても、私は嬉しい。私は自分が愛しい。愛を思って、磁場の中にあった自分を思って、そして、ともに行こうと思いを向けていけることが嬉しい。

自分の歩むべき方向をしっかりと自分の中に確立させたことが最大の喜びです。何も要らない。ただ自分の行く道が自分の中で見え、その道をひたすら進んでいく自分が確立していれば、思うだけで幸せ。思うだけで喜び。そして、もちろん生活は整っています。何の苦労もない。何の悩みもない。心からありがたうと自分に言える幸せと喜びを感じます。

愛を思って瞑想。宇宙を思って瞑想。心に交信してくる意識達に思いを向けて瞑想。温もりと喜びと、そして、ともに帰ろうと

伝える喜びの中で、今、こうして通じ合えることが嬉しいです。

肉を持たせていただいて、心にあった温もりと喜びの自分を確信し、そして、自分に伝えていく、たくさんの自分とともにこれからの時間を喜びで存在していける、本当に大変、大変嬉しい今です。

たくさんの自分という表現から、肉的には数をイメージしますが、それらは意識、それらは全部自分、それらは私の中で一つ。

温もりと喜びの自分と出会っていけばいくほど、つまりその自分と重なり合っていけばいくほどに、一つという意味が、感覚が私の中ではっきりとしてきます。

表現は適当でないかもしれませんが、心の針を向け合わせていく技術力を高めていけば、肉はどこにいても、何をしても全く関係がないということは言うまでもないことです。それさえきちんと自分の中で習得できれば、まさにいつでも、どこでも温もりと喜びの世界が広がっていき、次元移行という意識の流れをはっきりと感じて、幸せ、喜びということです。

それが確立できれば、あとは何も要らない。まさに自分と自分の中で、どんどん進めていけばいい。その自己確立の道を今世樹立できたことは、本当にすごいことだと思っています。

愛を思って瞑想を続けていけば、自分を自分で救っていける、自分に本当のことが伝えられる、そして、それしかないことがどなたの心にも響いてきます。

それが二十数年、私達に真実の道を伝えてくださった田池留吉

氏が最後に残してくださったのが草書体の愛です。私達の目に見える形として最後に残してくださいました。

どうぞ、今世学びに集いともに学んできた方達は、この草書体の愛の文字を通して、しっかりと学んでください。

自分を自分で救っていくこと、自分に本当のことを伝えること、この道筋を自分の中にしっかりとつけていってください。基本をしっかりと押さえ、草書体の愛に心を向けて、草書体の愛を思って瞑想を続けていけば、それが可能となってきます。現実的に自分の心に響いてくるようになってきます。そうすれば自ずと嬉しくなってきます。自分に本当のことを伝えられることがどんなにすごいことなのか、心の体験を重ねていきましょう。

草書体の愛。ご活用ください。そして、意識の世界の喜びをともに感じていきましょう。

「磁場と反転」の本の中でも触れました。ホームページ上でも何度も語らせていただいています。それは自己確立です。学びの手順をお伝えしているものは、セミナーを含め、すでに至るところに溢れています。

あとは、それを活用するか否かだけであり、それはそれぞれの決断です。

基本をしっかりと学んできた後に残されたものは、瞑想だけです。

瞑想です。自己確立の道が自分の中にしっかりと出来上がっているか、できつつあるか、それは瞑想によってはっきりとしてき

ます。

瞑想をしない人、瞑想ができない人、それはこの学びを心で知っていくことは難しいです。よって、結局は殆ど自分の心の世界は何も変わらないんです。

「心で分かる。心でしか分からない。心で分かってくればどんどん分かってくる。この心さえあれば何も必要としないことが分かってくれば、どんなに今がすごい時なのかも手に取るように分かる。そして、次元移行へ向かっていくことがどんなに喜びなのかも分かってくる」。こうして意識の流れは自分の中でスムーズに推移していくことが分かってくるのです。

私には、他人の生活態度まで干渉する思いは全くありませんが、学びをしてそれがどんどん自分の中で進んでくれば、生活態度について、どなたも納得できることがあります。

それは、ぐうたらな生活、ふしだらな生活、昼と晩が逆転した生活等々、そんな生活習慣の中で、真実の道を歩いていくことはできないことです。

肉の生活は変わってきます。規則正しくと特に自分を律することをしなくても自ずと肉はそうなるんです。肉とはそういうものです。

心が真実の方向に向いていけばいくほど、そうってきます。

だから、その人の日常生活を垣間見ることがあれば、その人の進捗度が感じられます。

取り立てて、その人に意識を向けなくても、ああ、この人は学

びというものをどういうふうにとらえているのか伝わってきます。

と言って、働き者、忙しく飛び回っているのがいいとか、そういうものではないですが、安定した意識の世界が、安定した生活態度に現れてくることは確かなようです。そして、日常が安定しているから、さらに意識の世界へ心に向けていけるといことなのでしょう。

まだ明けない暗い空にお月さんがくっきりと見えます。ああ、今日はいいいお天気だとお月さんを見ながら、私の一日が始まります。

気分よく、機嫌よく、こうして一日のスタートが切れることを嬉しく思いながら、私は愛の文字と五訓と愛犬の写真を敷いた机の上で、パソコンのキーを叩く。しばし目を閉じて、私は私の世界を感じる。ああ、私はここに生きていと感じながら、そんな私とともにこうして時を経ていくことが嬉しいです。

何の変哲もないこうした時間の積み重ねを経ながら、私は私の決めた道筋を歩いていくんだと実感できる喜びは、何にも代えがたいです。

ありがとうございます。ようやくにしてここまでたどり着きました。そして、私はさらに自分の道を極めていきます。心から待ち望んできた思いを着実に実現するべく、私はただひたすら前を向いて進んでいくだけです。こんなに幸せな時を迎えられるとは、そして、それよりもさらに幸せと喜び溢れる時を用意しているとは、やはり私の中は少々驚きです。

しかし、それは私が計画してきたことです、これが意識の流れですという思いも一方から届きます。私はこの私の思いに素直になって、一つになっていけばいいと、繰り返し瞑想の中で感じている今日この頃です。

自分の中に確固たる道が見え、次元移行へ向けての自己確立がきちんと整っていれば、どんどん自分と自分の中で感じていける、感じていける喜びと幸せが溢れてきます。心に向ければただただ嬉しいです。思うことが嬉しいです。

そして、私は、今もなお母が私に自分のエネルギーを教えてくれるという最適な環境の中にあります。私は母と接しながら、肉の母は見えていない。私は私のエネルギー、私自身を感じているだけです。それが嬉しいんです。そんな自分のエネルギーを感じさせてくれることにありがたいしかありません。

そして、母も学んでいるから、なおさら私は幸せです。今はまだ私を自分の子供として見ている部分が多いから、まだまだ私の言うことなど素直に入ってくれないかもしれませんが、それも私自身のお勉強の課題としてクリアしていきます。

今の環境を最大限に活用して、互いがそれぞれの一步を歩むことができればこんな幸せなことはないでしょう。

私は今世、私に肉をくれたという事実は、私の中でしっかりと受け止めています。私自身が喜びを感じていけばいくほど、その事実は私の中にありがたいの思いを厚くしていきます。この原点に立って、私は歩みを進めています。

このありがたいの思いが私の原動力。母なる宇宙へ思いを馳せていける今、私は本当に幸せです。心の針を向け合わせることに、それがたった一つの鍵でした。

私は瞑想をしている時が最も幸せです。目を閉じて心の針を向けていく時、私の中で何とも言えない嬉しさというか喜びが温もりとともに突き上がってきます。それは何度も、何度も、繰り返して、繰り返して、感じていける。それはそうですね。それが私の本当の世界だから。私は本当の私を感じているんだから、それが変わるなんてあり得ないことです。

このことを、田池留吉氏は伝えてくれました。待つことが愛だと言いながら何百回のセミナーを通して伝えてくれました。その氏の思いは並々ならないものでした。箸にも棒にもかからない状態の意識の世界を抱えて学びに集った私でしたが、瞑想をして心に向ければ、本当に、今世、こうして肉を持って学ばせていただいた喜びが心に響いてきます。自分を見捨て、自分を裏切ってきた心に出会わせていただいたことに感謝です。

見捨て続け、裏切り続けても、私は私を待っていてくれることを知ってくださいと伝えてくれた田池留吉の磁場、田池留吉の世界を私は学んでまいりました。学ばせていただきました。胸を張ってそう自分に言えます。

これから「母なる宇宙とともに」の仕上げと、「愛 あなたは愛です」の本の執筆を通して、私はさらに瞑想を重ねていきます。次元移行の意識の流れの中で、私はさらに自分を感じてまいりま



す。それが私の幸せ、それが私の喜び。ようやくにして、自分を感じていく幸せと喜びを心で知った今でした。今という時に巡り合えたことがただただ嬉しいです。

人は自分が何なのかを分からないから、生きることも死ぬことも結局は分からないんだなあと、色々なニュースを見聞きしながら、つくづく感じています。

私自身もそんな中にずっと、ずっと肉を持っては時間を経てきたんだ、その中でこれが私の幸せだ、これが私の喜びだ、これが人生というものだなんて、一人悦に入っていたんだと思います。

本当に愚かしい時間を延々と続けてきたなあと振り返ることができる今があること自体、幸せなことです。

欲とはどういうことかも分からなかった。なぜならば、自分が何なのかが分からなかったから。

すべてにおいて無知でした。本当に自分が何なのか分からなければ、すべてにおいて無知。本当にその通りでした。本当に滑稽でした。滑稽な我が身を我一番としてきたのだから、もう本当に箸にも棒にもかからない状態の中にあっただと、瞑想をして喜びが深まっていくにつれて、つくづく、しみじみそう感じます。

「磁場と反転」、読み込んでいただいているでしょうか。

さらに、草書体の愛を使っただのあなたの体験、瞑想の実践はどうでしょうか。

自ら率先して学ぶことをせずして、セミナーに参加されることについて、私には全く理解できません。一堂に会しての無条件でのお勉強も2012年12月のセミナーを含め現時点では10回の予定です。

セミナーに参加されるならば、自宅学習を重ねて参加してください。

本も読まず、ホームページも見ず、瞑想もせず、そういう人はセミナーに参加されていないと思いますが、どれか一つを欠いても、セミナー会場にやってきて充分なお勉強はできかねると思ってください。

してくださいと言われたことはやってください。これは基本中の基本です。お願いしているわけではありません。ただ、いつまでもぶら下がり状態の学び方は、通用しないことを、それぞれの心で知ってくださいと思うだけです。

セミナーの回数にこだわるつもりはありませんが、2014年（平成26年）についても、2013年（平成25年）と同じく、無条件でのセミナー開催数が減る可能性があります。

私自身、もっと凝縮した学びの時間にしたいという思いがあります。おそらく、それは田池留吉氏も同じ思いだと推察しています。その思いの方向にあるのは、250年、300年に至る喜びの時間です。

私は、自分の心の針を中に向けて、田池留吉の磁場、そして、愛と思いを馳せていけば、本当にこれからの喜びの時間が心に広

がってきます。何もかもこの自分に巡り会うためだったんだ。そのために、私はこうして今、肉を持っているんだ、あと一度肉を持ってくるんだという思いが響いてきます。そして、そんな自分自身を心に感じていけばいくほどに、私の中のたくさんの宇宙達に思いが向きます。

嬉しいです。宇宙を感じていけることが嬉しいです。遙か彼方からこの次元にやってきて、今、そんなたくさんの私と出会い、そして、ともに次元を超えていくんだということを感じています。

ああ、心に向けられることがどんなに幸せなことなのか、心の針を合わせられることがどんなに喜びで、どんなにすごいことなのかということです。

田池留吉の肉があって学ぶこと、田池留吉の肉がなくて学ぶこと、自分の肉があって学ぶこと、自分の肉がなくて学ぶこと、それらはみんな同じでなければならない。そういうことを私はどんどん自分の心で学んでいくんだと思います。それが、250年、300年に至る私の勉強として続いていきます。

そういう意識の流れの中での今のお勉強です。意識の世界がどんどん深まっていけば、それだけ次元移行へのスピードを加速していける。そういう意味で、凝縮したお勉強の機会を可能な限り持ちたいというのが私の思いです。

(2012年12月7日掲載分まで)

<http://www13.ocn.ne.jp/~utamate/>

意識の流れ 田池留吉の磁場を思い瞑想をしよう 第2巻

---

2013年3月20日 第1版第1刷発行

編集 / 発行 U T A 会

印刷 / 製本 モリモト印刷株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

---

© 2013 Printed in Japan